



一般社団法人
日本ヘルスケア歯科学会
事務局 東京都文京区関口1-45-15-104
☎ 03-5227-3716 Fax 03-3260-4906
URL <https://www.healthcare.gr.jp>
E-mail : center@healthcare.gr.jp
編集代表 島野圭介
編集制作 有限会社 秋 編集事務所

| | 年会費 | 入会金 |
|----------|---------|--------|
| 歯科医師 | 12,000円 | 5,000円 |
| スタッフ/その他 | 3,000円 | 3,000円 |

郵便振替口座 00190-7-407895
名義 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会
銀行振込口座 三菱UFJ銀行 江戸川橋支店
普 0051809
名義 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会



CONTENTS

| | |
|-------------------------------------|--|
| 巻頭 みんなでヘルスケア診療の成果を発信していこう! . p.1 | Healthcare bibliography p.14 |
| 各種セミナー紹介 p.2, 3, 5, 9, 23 | 歯科クリニックのパソコンネットワーク環境健全化計画1 p.15 |
| ウイステリア普及プロジェクト 検索を利用したデータ活用 .. p.4 | ウェビナー報告 p.16 |
| 第7期第4回オピニオンメンバー会議 報告 p.6 | ヘルスケア・フォーラム p.17 |
| 告知板 p.8 | 新規公認団体紹介 p.19 |
| 第8期オピニオンメンバーの信任投票結果 p.10 | フォーラム【ヘルスケアと赤ちゃん歯科】19 p.20 |
| 第8期オピニオンメンバー・新任・再任メンバー紹介 .. p.11 | マー君の enjoy my life / 譲ります p.21 |
| オンラインサロン紹介 p.11 | vimeo もっと活用しま SHOW / vimeo 案内 p.22 |
| ウイステリア普及プロジェクト アンケート 調査結果報告 .. p.12 | 認定歯科衛生士更新ポイントについて / 事務局から ... p.23 |
| 永年会員表彰・訃報 / ウェビナー告知板 p.13 | ヘルスケアミーティング 2025 / 認証ミーティング .. p.24 |

催しものご案内

① スプリングセミナー

日時：2025年3月9日(日)
場所：AP 浜松町&オンライン
オピニオンメンバー会議併催

② 新オンラインサロン

日時：2025年3月11日(火)
2025年4月8日(火)
2025年5月13日(火)

③ 東京ワンデーセミナー 2025

日時：2025年5月18日(日)
場所：日本歯科大学 東京キャンパス

④ 歯科衛生士新人初期研修 2025

日時：2025年5月20日(火)～
場所：オンライン (Zoom)

⑤ 第6回実践セミナー

日時：2025年7月20-21日
2026年2月22-23日
場所：ホテルフクラシア大阪ベイ

⑥ ヘルスケアミーティング 2025

日時：2025年11月2-3日
場所：一橋大学一橋講堂+会議室

重要なお案内

● 以下の同封物をご確認ください

- 2025年度ステッカー
2025年度会費納入済みの方に同封。
- 2025年度会費振込用紙
2025年度会費未納の方に同封。
- 日本ヘルスケア歯科学会誌
vol.25 no.1
- 東京ワンデーセミナー 2025 案内
- 第6期 実践セミナー案内

みんなでヘルスケア診療の成果を発信していこう！



高橋 啓 (日本ヘルスケア歯科学会代表)

私が代表になってこの約2年間は、ヘルスケアの活動を振り返る時間でもありました。現在の日本ヘルスケア歯科学会は、先送りしてきた課題も多く、その道筋を付けていくことも大事な仕事となっています。

当会の歴史を振り返ると、今ではあたりまえになりましたが、9枚法の口腔内写真を考案し、普及させました。予防歯科、定期メインテナンスを整理して、日本の臨床現場に合うかたちを示してきました。そのようななかで、う窩ができる前のコードもあるICDASをただ紹介するのではなく、フォトパネルを作成して普及につとめ、日本に定着させてきました。カリエスマネジメントは、なかなか日本の臨床現場に合うものがなかったため、CRASPを作り活用を提案してきました。そんな日本の歯科臨床を進化させ

てきた26年です。さらに当会は、会員皆が積み上げてきた「臨床データ」や「長期症例」があります。ただ、「臨床データ」や「長期症例」を整理するのは、面倒な作業でもあります。ここに価値があるのはわかっているのですが、もうひとつ発信できていません。ぜひみなさん、発信する取り組みに力を貸してもらえないでしょうか。難しいことをしようという話ではありません。あなたの医院の貴重な「臨床データ」を「長期経過良好症例」を発信して欲しいのです。

「発信する」とは

ここで言う「発信する」とは、皆が引用できるかたちで発信していくことになります。原著論文、調査報告、症例報告といろいろなかたちがあります。

それぞれの医院でできるかたちで発信してはどうでしょうか。たとえば、臨床例が得意な医院は、長期の症例報告をまとめるのもいいでしょうし、医院でデータ入力をしているならば、メンテナンス患者の動向などを調べてみるのも面白いかもしれません。とにかく、等身大のヘルスケア歯科診療室を世の中に発信できればと思います。当然、歯科衛生士の症例報告も大歓迎です。

動き始めています（倫理審査委員会）

ただ、発信しようと言っても、なかなかハードルは高いことでしょう。何をどうすればいいの？ と止まってしまうこともあるかと思いますが。現在、「臨床データ」の発信には、倫理審査を受けなければならないという規定が一般的です。以前から当会にも、倫理審査委員会はありましたが、なかなか稼働できずにいました。それを2024年から具体的に動かし始めています。今後どのようなかたちで、より稼働させていくかは相談中なのですが、一つのハードルを下げていっています。臨床データをまとめる際には、当会の倫理審査委員会にも相談をよろしくをお願いします。

臨床研究プロジェクトに参加しませんか

昨年「臨床研究プロジェクト」というWebのミーティングを足踏させました。岡恒雄さん（倉敷市）を中心に2カ月に1回、勉強会を行っています。今は自院のデータを発信するべく、回を重ねております。参加希望の方がいたらぜひ、加

わってください。まずは高橋（info@tak-dental.com）まで連絡をください。詳細を聞いたうえで、参加を決めてもかまいません。興味を持っている方、ぜひ一緒にやりましょう。

皆の色々な工夫を発信しよう

これ以外にも、ヘルスケア診療を発信することは、いろいろあるかと思いますが。あなたの医院の長期症例をヘルスケアミーティングでポスター発表にまとめるだけでも価値があります。また、当会は臨床を実践する医院の集まりなので、「こんな工夫をしています」「こんなことをやったら、とても良かった」といった日常の工夫も発信して欲しいです。皆さんがヘルスケア診療で積み重ねてきた日常臨床には、大きな価値があると思うのです。しかし、それを発信しなければ輝きません。ぜひ発信していきましょう。

ヘルスケア診療は、通院する患者のためにもなり、診療をする我々にもやりがいを与える診療です。我々には長期通院をしてヘルスケア診療を支持してくれる多くの患者がいます。このかたちを進化させ、日本に残していきましょう。当会は、時に助け合い、教え合いながら、前に進んでいく会です。ヘルスケア診療への取り組みが大変なときは、ぜひ相談してください。相談しやすいところでは、会員ホームページから、毎月第二火曜日のオンラインサロンに参加してみるのもいいと思います。ヘルスケアミーティングやワンデーセミナーなどに参加して、直接相談も大歓迎です。ぜひいろいろな場を活用してください。2025年も皆でよい年にしていきましょう。



セミナー紹介

好評
配信中

日本ヘルスケア歯科学会 × デントウェーブドットコム コラボセミナー

デントウェーブドットコムでのウェブセミナーのご案内です。

本企画は、日本ヘルスケア歯科学会が定める「認証診療所」のステップアップガイドをもとに、藤木省三監修のもと、高橋啓、栢富健二、伊東佑記、飯田太一、平島美穂、丸山修平、島野圭介、渡辺勝の8名が登壇しています。（敬称略）

診療所単位でステップアップするためにどうぞご利用ください。



https://www.dentwave.com/movie/paidwebinar_20241225/

受講料：5,500円（税込み）

配信期間：2025年3月31日までのお申し込みとなります。ご注意ください。

※申込み後2025年4月30日まで視聴可能です。

決済方法：クレジットカード

※視聴には、別途「デントウェーブドットコム」への会員登録が必要です。詳細はデントウェーブのホームページをご確認ください。

※当学会主催のセミナーではありません。

Dr. JAPAN HEALTH CARE DENTAL ASSOCIATION
日本ヘルスケア歯科学会 × DentWave.com

藤木先生 監修!

これからの時代を生き残るための
「予防歯科診療室」
の作り方

日本ヘルスケア歯科学会所属のDr.8名による豪華ウェビナー!

セミナー
紹介

オピニオンメンバー会議併催 ヘルスケア・スプリングセミナー 2025

テーマ：患者中心の医療を学ぶ

受付中

2025年3月9日(日) 13:30~16:00 AP 浜松町(東京) Room C & オンライン(Zoom)

講師：森田 夏実 (健康と病いの語りディベックス・ジャパン)
岩澤 倫彦 (フリージャーナリスト)

参加対象者：会員および会員診療所スタッフ

参加費：オピニオンメンバー 無料 (要登録)

会員歯科医師 5,000 円 / 会員スタッフ 2,000 円 / 非会員スタッフ 3,000 円

※オンライン同額



お申込みは QR または
ホームページから

プログラム

- 13:30 開催趣旨説明と講師紹介
13:40 森田 夏実 医療者教育における「健康と病いの語り」の活用 (講演・質疑応答 60 分)
14:40 休憩
14:50 岩澤 倫彦 歯科治療に批判的な記事を書く理由 (講演・質疑応答 60 分)
15:50 謝辞・閉会挨拶 (代表：高橋 啓) 終了

抄録

医療者教育における
「健康と病いの語り」の活用

森田 夏実



「健康と病いの語り」データベースは、病気の診断を受けた人やその家族が「語り」に触れ病気と向き合う勇氣と知恵を身につけるために作られたデータベースです。このデータベースは、病気を経験した (している) 当事者にインタビューして、そのお話を映像と音声で記録し、社会的なスクリーンを通して分析し蓄積したものです。患者さんとその家族だけでなく、医療者が患者本位の医療を学ぶために活用されます。看護教育における語りの活用のご紹介いたします。

患者 (利用者) 中心の歯科医療の実現のため、ご参考になれば幸いです。

1979 年 順天堂看護専門学校卒業後、看護師
1986 年 聖路加看護大学大学院修士課程修了
2001 年 慶応義塾大学看護医療学部准教授
2006 年 聖路加看護大学 博士 (看護学) 学位取得
2019 年 東京情報大学看護学部教授 (2022 年退職)
2020 年 桜楓カウンセリング研修会代表
2009 年より認定非営利活動法人 健康と病いの語りディベックス・ジャパン運営委員。「健康と病いの語り」教育的活用事業に尽力

※聖路加看護大学→現・聖路加国際大学

歯科治療に批判的な記事を書く理由

岩澤 倫彦



2016 年に週刊ポストで「やっちはいけない歯科治療」の連載を開始して以来、私は同誌の歯科特集を 9 年間にわたって書いています。ずさんな治療の告発や、批判的な視点の記事が多く、「銀歯」をテーマにした記事では、歯科医の方々から強い反発を受けました。

週刊ポストに限らず、雑誌の歯科特集は批判的な切り口になる傾向がありますが、それは多くの人々が、歯科治療に不満や不信感を抱いていることを反映しています。過去の歯科業界が治療するばかりで、正しいセルフケアの普及に消極的だった象徴が、中高年世代の奥歯に光る銀歯ではないかと思っています。

取材を重ねる中で「誠実な歯科医療とは何か」、一人でも多くの読者に目撃できるようになってほしい、と私自身も変化してきました。今回は取材で感じた疑問点やエピソード、私なりの提言などをお伝えしたいと思います。

1987 年 制作会社アイルムービーで TBS のドキュメンタリー番組などに従事
2003 年 血液製剤による C 型肝炎の調査報道で「新聞協会賞」「米ビー・ボディ賞」
2023 年 国立循環器病研究センター理事長らの論文不正疑惑を週刊ポストでスクープ
2024 年 「がん『エセ医療』の罟」(文春新書) 出版
「特集・コロナワクチンは危ないのか」プレジデント
2014 年よりフリージャーナリストとして独自の調査報道を実施。現在、文春オンラインで「東京女子医大の闇」を連載中。歯科医療の特集記事を年 1、2 回のペースで担当している。

検索を利用したデータ活用 メンテナンス患者の継続について



寺田昌平（姫路市開業）

患者データ管理データベース『ウィステリア』（FileMaker カスタム App（テンプレート））の検索を使うことによって、いろいろと役立つ情報を得ることができます。臨床面での役立つ方については、過去のニュースレター記事も参考にしてください。今回は、こんな切り口もあるというを出してみたいと思います。

ウィステリアを使っていて、日常の臨床で次のような素朴な疑問を持ちました。

1. メンテナンス患者は思うように増えているのか
2. 初診患者のうち翌年以降どれくらいの患者がメンテナンスに来院しているのか
3. 院内、院外での勉強会はメンテナンスの来院に意味があるのか

ウィステリアの活用

ウィステリアの来院履歴の入力があれば上記の問題を解決することができます。そのためには、まずは今来ている人だけでも入力していきます。

使い方ですが、Windows でも Mac でも 1 台でよいから FileMakerPro（クラリス社）をインストールしたパソコンを用意し、ウィステリアを購入します。レセコンからカルテ番号、名前（できれば過去来院日）の書き出しをしてもらい、ウィステリアに取り込みます。（できない方は）自分で考えていても進みませんから業者をお願いして、その費用は診療してまかなうのがよいと思います。

その後は、毎日来院する患者の来院履歴（日付と診療内容）を診療後に自分で入力します。ある程度の入力と注意点などが

分かるようになってから受付（スタッフ）に委譲する、そうすれば数年経過後、以下のような臨床面でのいろいろな疑問を解決できます。

ウィステリアによる検索結果と考察

1. メンテナンス患者は思うように増えているのか

1 年間の来院患者数（メンテナンス来院患者数、修復のみの患者数）の変化、約 80 % がメンテナンスを受けているがあまり全体として増加はみられない。5 年後には 2 倍のメンテ数としたいので今年目標人数を立てることができます（図 1）。

その対策として、スタッフの人間関係改善、自分の人間性向上、診療準備の充実、技術向上、環境整備、総来院数増加、スタッフの増員育成などを考えます。スタッフの増員育成で、より具体的には新人歯科衛生士との日誌交換、マニュアルの充実、求人内容の充実、歯科衛生士学校にアプローチなど、打つ手は無敵です。

2. 初診患者のうち翌年以降どれくらいの患者がメンテナンスに来院しているのか

修復が終わった後、翌年で 40 %、5 年で 30 %、10 年で 20 %、25 年経過すると 10 % 受診を継続しています（図 2）。初診増加対策も大切ですが、せっかく来院して下さった患者さんの治療後メンテナンス継続対策の方が有効ではないかと思っています。

そのために 1 の対策と同様に、受付、助手の接遇力強化、歯科衛生士の接遇と技術研修受講支援などなど。

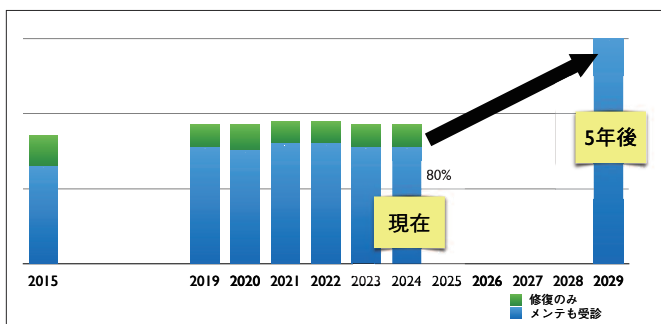


図 1 1 年間の受診のなかで 1 回以上メンテナンスを受けた受診者と修復診療のみでメンテナンスを受けていない受診者の比率。メンテナンスを受ける方が 2024 年では 80% まで増えてきた。健康を維持・増進するためにメンテナンスが認知され、またその体制が整ってきた。

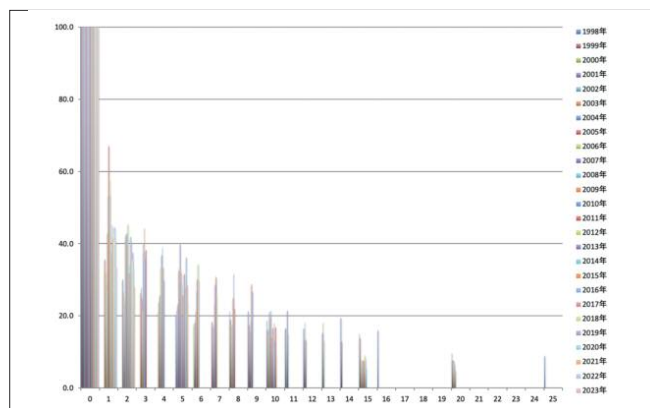


図 2 初診患者のラインからの経過年数別メンテナンス受診率の推移。初診から翌年では 40% が翌年もメンテナンスを受けているが、年々低下して、25 年も経過すると 10% となっていた。

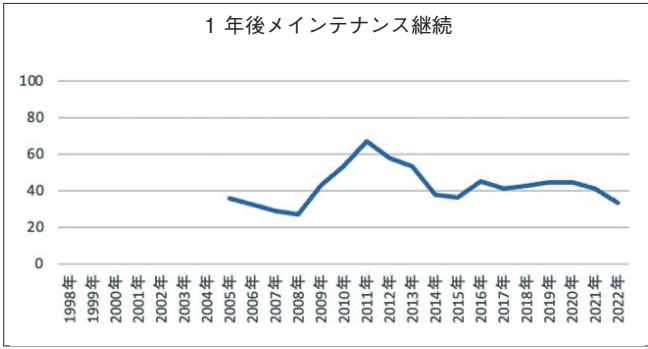


図3 初診患者の翌年メンテナンス受診率の推移。当初は翌年になると初診の30%がメンテナンスを受けていた。医院全員で研修をうけていた時期では70%近くメンテナンス受診が増えてきていた。その後参加が途絶えると継続率の低下がみられる。

3. 院内、院外での勉強会はメンテナンスの来院に意味あるのか

翌年のメンテ移行率の推移、2011年あたりまで右肩あがりです(図3)。なぜあがったか? ちょうど医院スタッフ全員

で関西ヘルスケアに参加していた時期と一致します。時間と費用をかけて時と場所を共有し方向性を一致させることで、メンテナンスに対する説明も熱が入っていたのだと思います。

2011年以降、関ヘルが休会となって、それから東京でのヘルスケアミーティングには数名参加で、全員参加ではなくなってから移行率が急降下しています。医院としての方向性を確認する機会が減ったからでしょうか?(だから時間と費用をかけてでも全員で参加する意味はあるかと思います)

以上のように来院履歴を入れるだけでも多くのことがわかるきっかけとなります。最初の1歩が、日々の診療が忙しくてなかなか踏み出せないものです。じつは私もそうでした。ウイステリアを購入してから3年ほど熟成? させていました。でも、思い切って踏み出してみ、振り返ってみるといいことだらけです。まずは今からここから自分から、一緒に踏み出してみませんか。またヘルスケアにはそれを助けてくれる仲間がたくさんいます。



開発者からの感想 (藤木省三)

来院履歴もこのような使い方があるんだ! というのが一番の感想です。データを入れておけばいろいろな視点で考察ができるという素晴らしい例だと思います。

長期メンテナンス移行率のところで、「初診増加対策も大切ですが、せっかく来院して下さった患者さんの治療後メンテナンス継続対策の方が有効ではないかと思っています」と書かれていますが、私も同感です。初診患者も確かに大事なのですが、継続してメンテナンスに来ていただけ

る患者が増えると、その患者から紹介された最初からヘルスケア歯科診療を求める患者が増えるので、経営もより安定してきます。

最後の関西ヘルスケアに参加していた時期とメンテナンス移行率の相関性は今まで考えたこともありませんでした。しかし、診療室の目標を確認したり共有したりする効果があるのだと思います。みなさんも、今年のヘルスケアミーティングに医院全員で参加して確かめてみませんか。

2025年5月18日(日) 10:00 ~

場所: 日本歯科大学東京キャンパス 141 講堂

【参加費】(昼食付)

- 会員歯科医師 10,000 円
- 会員その他 6,000 円
- 非会員歯科医師 13,000 円
- 非会員その他 9,000 円
- 研修医 2,000 円

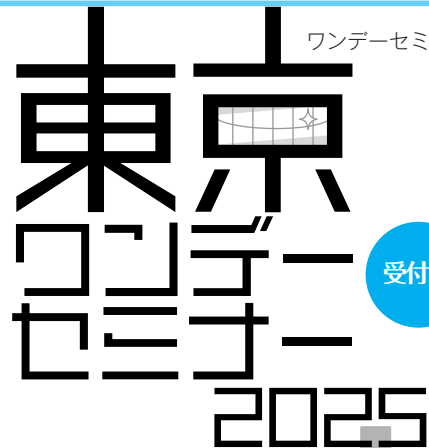
学校関係者(教員・学生) 無料・要登録

※ヘルス通貨(学会内通貨)支払い可能

会員歯科医師 10 ヘルス・会員その他 5 ヘルス



※詳細はこのニュースレターに同封のフライヤーをご覧ください。



ワンデーセミナーとは1日で理解できる「ヘルスケア歯科診療」
受付中

【第7期】第4回 オピニオンメンバー会議 (代議員会) 報告

2024年11月17日(日) AP 新橋および Zoom

11月17日(日)午前10時より第7期第4回オピニオンメンバー会議が開催されました。これは今期最後のオピニオンメンバー会議でした。高橋啓代表の挨拶の後、議長に齋藤健さんが選出され、議長は会場参加24名・オンライン参加29名計出席者53名および委任状23名をもってオピニオンメンバー会議の成立を宣言し、議事録署名人に浜端町子さんと高澤淳仁さんを指名しました。以下、会議の概略を記します(議事の詳細は、ホームページのオピニオンメンバー会議 <https://healthcare.gr.jp/?page_id=30> からダウンロードできます)。

第一号議案 ヘルスケアミーティングの反省および来年の企画について

1. ヘルスケアミーティングの反省

・企画について

高橋代表は、10月に開催したヘルスケアミーティングの企画意図を振り返り、「院長だけ改善したら診療室がよくなるのか? 決してそうではないと思いませんか」と語り、2日目の午前のプログラムについては、だれもが参加できることを重視した意図だと述べた。また、同日午後の「UP-SRP」について、次のように補足説明を行った。

高橋：今から7~8年前に藤木先生の診療室に行ったときに歯周治療をみると、少しやり方が違って、それを尋ねると、「いろいろ実験して変えていっているんだよ」とおっしゃった。藤木さんは歯周治療に限らず、自分で疑問に思ったらよく実験をされます。このSRPについても、抜去歯を使って、超音波スケーラーでどうやったら効率的に緑下歯石が落ちるかについて散々試し、それを整理して大西歯科の今のかたちになったということで、それを紹介していただいたわけです。あくまでもヘルスケア歯科学会としては歯周治療の「選択肢の一つ」の紹介です。みんながこのやり方でやらなければいけないという提案をしたわけではありません。あくまでも選択肢の一つです。

さらに、ポスター発表について、発表を動画に記録しYouTubeで紹介するという試みを行ったことを紹介した。

・収支について

ヘルスケアミーティング2024の収支については、事務局長の秋元秀俊が次のように報告した。

収入は、会員歯科医師85名、会員その他192名、非会員歯科医師12名、非会員その他57名(以上オンラインを含む)、出展料8社、その他合計4,736千円(ヘルスによる参加：歯科医師18名、その他54名換算計846千円分が計上されていない)。支出は、会場費1,352千円など計4,370千円で、収支差額は365千円となった(交通費の未精算分、事務局経費などを支出に含んでいない)。

「ヘルスケアミーティングの反省」についての質疑・意見(主要意見の要旨)

河野正清：今回の運営について、収支の面で大きな赤字を出してきたこれまでと比較してとてもよかった。会場を三つに分けて、同時に三つのプログラムを並行して実施したことについて、種々な角度から多様な企画ができた、今後もこのかたちが望ましい。ただ悩ましいのは、選択以外のプログラムが見られないということなので、参加費を払って参加した方については期間を区切って、録画を視聴できるようにしてほしい。今後、複数会場でプログラムが並行する場合には、検討していただきたい。

林由加里：今回、「UP-SRP」がメイン会場で発表された。歯科衛生士基礎コースの講師の立場から、会としてどのように「UP-SRP」を取り上げるのか関心を持っている。今日、高橋代表から「UP-SRPは選択肢の一つとして紹介した」という考えを聞いたので、コースは今までどおり続けていけると安心した。「UP-SRP」を会としてメインの方法として採用するとなれば、指導



の仕方も変わってくるので、そのことを今日お伺いしたかったが、最初に聞けてよかった。

2日目、認定歯科衛生士のパートを担当したが、当日、席の配置から全部用意しないとイケない状態で、映像の確認もできないまま始まってしまった。もし同じ会場を来年も使うのであれば、事前準備の時間をつくって、もう少しスムーズにやりたい。来年(2025年)はもう少し準備時間をとってほしい。

高橋代表は、この点については改善すると答えた。

今年は既に会場の予約が入っていて、使用できなかった。来年は前日夕方から準備できるような段取りにする。

2. 来年の企画について

1日目の企画について古市さんから、2日目は午前について林浩司さん、午後について杉山精一さんが企画中の案を紹介した。意見、質疑はなかった。

第二号議案 事務局費の値上げについて

高橋代表は、事務局費の値上げの趣旨について以下のように述べた。

高橋：当学会の運営面では、本当は事務局にもっとお金を払いたい。それぐらい人をかけ、サポートをしてもらっている。この議案の値上げ額では、昨今の物価上昇を考えると足りないのではないと思う。今後、歯科医師会員を増やすことで改善したい。歯科医師会員の入会を毎年100人にするのが理想。セミナーから年間100人、まだ完成はしていませんがホームページから年間50人。そんな現状で、この事務局費の値上げ案を議案にあげました。

秋元は事務局長として以下のように説明した。

秋元：私の事務所で事務局を請け負っている関係で、大変心苦しいが、値上げをお願いしたい。この会を研究会から引き継ぎ、法人化してスタートした当初は、今よりも事務局費は多かったが、会員数が設立3年目に急減したために事務局費を下げ、かなり苦しい状態で、これまで維持してきた(人に関わる部分月額20万円、室料や電話代など月額6万円)。さまざまな工夫をして頑張ってきたが、昨年、インボイス制度の導入に伴い消費税をいただくことにした。さらに昨今の人件費、郵便料金は、大幅な物価上昇により、値上げを申し出ることにした。事務局にかかる経費を考えると大幅なマイナスだが、ニュースレターや会誌の制作などは、別途請求を立てている。小さいといえども事業体なので、マイナスもあればプラスもある。お金以外のところでのプラスもある。そのような企業努力により、今回、人に関わる部分20万円を24万円とし、場所・通信に関わる部分を6万円から8万円にさせていただきたい。2割の大きな値上げとなるが、ご検討ください。

事務局費値上げ案についての質疑・意見(主要意見の要旨)

河野(正)：今の秋元さんの説明を聞かれば、今回値上げについては、みなさん異議はまったくないと思うが、もう少し長期でこの問題を考える必要が出てきているのではないかと。この会ができてから25年、ずっと秋元さんの事務所にいかに抱っこのかたちでやってきていただいている。今の説明を聞いても、秋元さんにあんまりメリットはない状況です。年齢の問題もあり、10年後、15年後を考えると、秋元さんの手が離れてもこの会を運営していくことができるビジョンを検討しなければならない。事務局がちゃんと任せられるような金額ということも含めて考える必要がある。長期の目を持ってコアの方には議論していただきたいと思う。

議長：議決の前に、いつから値上げという案ですか?



秋元：コア会議において、議案として了承をいただいたときに申しあげたのは来期から。来期とは、2025年1月から。
大井孝友：議決の前に、3号議案がこの2号議案に関連すると思うので、3号議案を進めてから採決したほうがいいのか。
議長：ご意見のとおり、第3号議案を審議して2号議案の議決に移るということにする。

第三号議案 会費について

田中正大さんが第三号議案について、以下のように趣旨を説明した。

田中：昨年、来る日も来る日も物価高騰のニュースです。定型の普通郵便料金が84円から110円、ものすごい値上げ率です。恐らく今30～40代の方は、生まれてこの方、物価がどんどん上がるということを経験されていないでしょう。われわれが子どものころは、10円の駄菓子子が15円になり20円になりと、毎年のように物価が上がるものだった。また、そういう時代に入ってきた。会費について、過去オピニオンメンバー会議のたびに値上げすべきではないかという意見をいただいていた。今までは現状維持でしたが、努力はしているが正味財産も目減りしている。今後は難しい。会費について見直すべき時期ではないかという提案をして、このオピニオンメンバー会議でご意見をうかがい、来春のオピニオンメンバー会議は決算総会でもあるので、そこで議案を提出することにしたい。

丸山和久：第2号議案に続いての第3号議案だが、コア会議では会費改定の話があって、事務局費値上げの案が出てきた。

会費改定について補足しておく。田中さんが「何度も検討議案として上がっていたものですが」と言われたが、値上げ案が検討に挙って保留になっていたわけではなく、「収支が少し厳しい」という話が出たときに、「会費を上げればいいじゃないですか」という話がオピニオンメンバーのなかから出て、それを押しとどめてきたという歴史があったように思う。

郵便料金値上げはびっくりした。ヘルスケアミーティングとかワンデーセミナーとか、催し物の参加費は実は少しずつ値上げしている。結果的に、アクティブな会員の負担増になっている。逆にサイレントな会員の負担はずっと変わっていない。分厚いニュースレターが郵送されてきている。その辺のバランスを調整してもいいのでは、という意見があった。イベント・セミナー関係は、最近は徐々に若い先生に運営をお願いする機会が増えている。予算を気にし、集客を気にして運営することになっている。個別のイベントごとにあまり汲々とせず実施できるようにしたい。

そこで、3月のオピニオンメンバー会議の議案として提出したいと考えている。決まれば2026年会費からの実施の予定。

議長：値上げ額案はまだ決定していないという解釈でよいか。

丸山(和)：はい、決定していない。

議長は、第2号議案について採決を行い、出席者全員の賛同を得た(第3号議案は、議決事項ではないので、採決はしていない)。

その他

・ホームページの改定作業の進捗状況

丸山(和)：ホームページの改定作業について

「そろそろ出なさい」という声を聞きますし、分かっているつもり。座長的な役割をしていた私が早い段階で方向性、作り込み方を決めて進められなかったということもあり長い時間がかかってしまったが、実際に業者にも入ってもらい、まだ作り込みのところまでではないが進みつつある。丸山(和)に促され、秋元が進行状況についてホームページ案のパワーポイントを用いて説明した。

ホームページの改定作業についての質疑・意見

杉山(精)：大変な労力を払っているということがよくわかった。他のスターグループなどのホームページに比べると中身が多いので、この会は歴史があって業績をしっかりと残している、ということがよくわかると思う。内容が充実しているので、どこかで見切り発車をして、継続的に委員会として修正・更新をしていくのがよい。

坪川正樹：学会のホームページなので、バック全面背景画像というのはあまり見ない。全面の背景としては白か単色かというほうが、緩い感じに取られないと思う。

丸山(和)：他にも「いや、これちょっとこうなんだけどな」というご意見は、どうぞ私のほうまで寄せてください。

・第7期オピニオンメンバーの任期満了にあたって

第7期のオピニオンメンバーの集まりが今回最後になるとして、継続して活躍をお願いしたいと述べた。

高橋：いろんな活動があるが、われわれのメインは、ヘルスケア診療を追求していくこと。交流する場としてフォーラムやプロジェクトがあり、クロスオーバーミーティングというのをつくった。プロジェクトとフォーラムは、出入りは自由。自分が参加したいところへ入って交流をしてください。その交流の結果、それぞれの方のヘルスケア診療が充実していくとうれしい限り。ヘルスケア歯科学会も25年経って、アクティビティが落ちてきている。ぜひいろいろセミナーに参加してみてください。「もう、うち(診療所)はできてから」とか、「これぐらい大丈夫」と思わずに、このオピニオンメンバーのみなさんも参加して、また周りにも声かけをしてください。

ヘルスケア診療は本当に、患者さんに支持される診療です。当院は、他地域へ引越す患者さんに同じような診療所を紹介してほしいとよく言われます。「いや、その地域にはないんだよね」と言うと、患者さんすごく悲しそうな顔をします。本当にヘルスケア歯科診療に出会ってよかったと、僕は思っています。患者さんにこれほど支持される診療は他にはありません。ぜひ、みなさんでいいかたちをつくっていきましょう。

第7期オピニオンメンバーの任期満了に際しての意見

河野(正)：会費の値上げの件、値上げは避けられないと思うが、歯科医師以外の会員、具体的には歯科衛生士の年会費がどのくらい上がるのかが気になる。勤務している医院によっては院長が半分もしくは全額補助してくれるようなところもあるが、自分で会費を払っている歯科衛生士(その他会員)も一定数いる。この自分で会費を払っているアクティブな歯科衛生士たちは、さっきの話をどのように思っているのか、彼女たちの意見を聞いてみたらどうか。

議長：率先して田村さんが手を挙げてくださいましたので、どうぞ。

田村恵：今の年会費、3,000円ってめちゃめちゃ安くないですか。以前は6,000円だったと思うのですが、なんで下げたんですか。

高橋：はい。(2015年に)準会員制度を廃止し、全員正会員で入ってほしいということで、準会員から正会員へ移行する代わりに、金額を下げたと思います。

田村：3,000円は安いですね。歯周病学会は9,000円、歯科衛生士会は(東京都歯科衛生士会・日本歯科衛生士会合わせて)なんと1万4,000円なんです。だから、それに比べたら安すぎじゃないかと私は思っています。歯科衛生士会の幹部の人に「1万4,000円って年会費は、高くないですか」と聞いたところ、「いや、これでもかつかつ…」と言われました。だから、



もっと高くてもいいのかな、と個人的には思っています。

山田：私は全額自分で負担をしている歯科衛生士です。ほかにも学会に所属していますが、年会費はすべて自己負担です。それと、年会費だけでなく、学会に参加する旅費、宿泊費、全て自己負担です。私は学校（勤務先）での補助がまったくないので、正直安すぎるとは思いますが、私にとってはありがたいです。ただ「3,000円を5,000円にするよ」ぐらいだったらアリかな、とは思っています。

丸山（和）：大いに参考にさせていただきます。

オピニオンメンバーの方には当初発足したフォーラム、プロジェクトにはどこか入ってください、という案内をして、みなさんご活躍されていると思う。次期はオピニオンメンバーを離れる方も、もちろんそのまま継続してご参加いただいで結構です。また新たにオピニオンメンバーになる方は、今後お誘いの予定です。今度、新しくフッ化物のチームを立ち上げたいと思っています。現在、修復物のプロジェクトがあり、堀坂寧介さんが成

果を論文にまとめていただきましたが、このプロジェクトはいったん解散します。そのメンバーの多くが、医院の継承などについてディスカッションするチームに移る予定です。

大井：ホームページ刷新担当の先生方に提案です。先日のヘルスケアミーティングに学生の参加があり、うちの息子とその友人です。その友人が、今回の参加で、かなり感銘を受けていたんです。昨日も、それもあってうちの診療所に東京から見学に来ました。そんな経緯で、感じる人には訴求力があるんだなと思いました。ですからホームページの中に、内向きだけでなく外向きの、学生みたいなまだこれからの人を誘導できるようなコーナーがあるといいなというのが、個人的な意見です。

丸山（和）：やはり年会費を上げることによって、これを機会に退会する人はいるでしょう。果たしてそれが、どれぐらいの割合なのか、までは全然読めていません。年会費を上げて辞める人がこれだけ増えた。結局収入は変わらなかった、みたいなこともあるかもしれません。そういうことをコアメンバーで話し合っているところで。

秋元：会費について、先ほど言及されていなかったのですが、ドクターはほとんどの方が事業所経営者です。会費などの費用は経費で損金算入されるわけです。税引後の所得として得ている山田さんが支払う会費とは次元が違います。つまり、金額が1万2,000円なのか、3,000円なのかではなく、損金として計上できるものと生活費から出るものだからまったく次元が違う。その他員の会費と歯科医師会員の会費を考える場合にはこの点を考慮しなければいけないわけです。

議長：これにて、第7期第4回のオピニオンメンバー会議を終わります。

（文責：秋元秀俊）



スプリングセミナー オピニオンメンバー会議併催

日時：2025年3月9日（日）13:30～16:00

場所：AP浜松町とZoomオンライン

講演テーマ：患者中心の医療を学ぶ

講師：森田夏実（健康と病の語りディベックス・ジャパン）
岩澤倫彦（フリージャーナリスト）

参加費：会員歯科医師 5,000円

会員スタッフ 2,000円

非会員スタッフ 3,000円（職種は問いません）

定員：会場100名・オンライン100名

東京ワンデーセミナー 2025

日時：2025年5月18日（日）10:00～16:30

場所：日本歯科大学 東京キャンパス 141 講堂

定員：100名

参加費：会員歯科医師 10,000円 会員その他 6,000円

非会員歯科医師 13,000円 非会員その他 9,000円

研修医 2,000円

学校関係者（教員・学生）無料・要登録

※ヘルス通貨利用可

第6期実践セミナー

予防ベーシックコース ― 予防型歯科医院のノウハウがここに―

日時：2025年7月20日～2026年2月23日

場所：ホテルフクラシア大阪ベイ（大阪市住之江区）ほか

参加費：会員24万円 非会員30万円

対象：40歳以下の歯科医師 推奨（勤務医・開業医・研修医問わず）

41歳以上の方は要相談

※詳細はこのニュースレターに同封の案内および学会ホームページをご確認ください。

ヘルスケアミーティング 2025

語り合う 歯周基本治療の実践

ひとをみるヘルスケア診療のためのアプローチ

日時：2025年11月2-3日（日・月祝）

場所：一橋大学一橋講堂＋会議室・一部Zoomウェビナー

1日目登壇診療所（予定）

大西歯科（神戸市）

医）いいた歯科クリニック（福岡市）

医）丸山歯科医院（深谷市）

医）西すずらん台歯科クリニック（神戸市）

医社）古市歯科医院（高松市）

公認団体：シン・関ヘル & K-WAVE 共催 歯科医師と歯科衛生士一緒に聞く！
ペリオドントロジー & カリオロジーについて

日時：2025年5月11日（日）10:00～16:00

場所：千里ライフサイエンスセンター

講師：柿本直也、藤田剛、高橋啓、滝沢江太郎

問合せ先：株式会社 K-WAVE 担当：西村

kwave160@gmail.com

学会外：第34回日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会

日時：2025年3月1-2日（土・日）

場所：国立保健医療科学院 & Web 開催

埼玉県和光市南2丁目3-6

（会期後のオンデマンド配信はございません）

大会長：牛山明（国立保健医療科学院 部長）

テーマ：健康長寿社会の実現に向けた包括的たばこ対策

通常参加登録：2025年2月28日まで

[https://sites.google.com/view/jmdatc-](https://sites.google.com/view/jmdatc-soukai2025)

soukai2025

※詳細はホームページをご覧ください。

告知板


 セミナー
紹介

 受付開始
3/12

第6期 実践セミナー 受講者募集

予防ベーシックコース — 予防型歯科医院のノウハウがここに —

2025年7月20日(日)～2026年2月23日(日)



担当：河野雄一郎

「ヘルスケアの実際がよく理解できた」「仲間ができた」「いいアドバイスがもらえた」と好評を博した宿泊型セミナーの第6回目です。ヘルスケア歯科診療の実践に移れるだけの内容が込められています。

変化を診るメンテナンスとはどういうことなのか…… 日常診療の中身はどうなっているのか…… どうすればそれができるのか……

● 講師（敬称略）

高橋 啓, 渡辺 勝, 本多 毅, 栢富健二, 丸山修平, 河野雄一郎 ほか

● スケジュール（予定）

| | | | |
|-------|---------------|---------------------------|-------------|
| 2025年 | 7月20日(日) | 合宿セミナー（ホテルクラシア大阪ベイ） | 13:00～ |
| | 7月21日(月祝) | 合宿セミナー（ホテルクラシア大阪ベイ） | 9:00～12:30 |
| | 9月27日(土) | Web（Zoom ミーティング） | 20:00～21:30 |
| | 11月2-3日(日・月祝) | ヘルスケアミーティング 2025（一橋講堂・東京） | |
| 2026年 | 2月22日(日) | 合宿セミナー（ホテルクラシア大阪ベイ） | 13:00～ |
| | 2月23日(月祝) | 合宿セミナー（ホテルクラシア大阪ベイ） | 9:00～12:30 |

● 主なプログラム（予定）

- う蝕の病因論と症例
- 歯周病の病因論と症例
- データ採取と管理
デンタル X 線, 口腔内写真,
プロービング（キャリアレーション）
- 診療所での資料運用方法（事例紹介）
- スタッフマネジメント①（調和）
- スタッフマネジメント②（採用と教育）
- チームビルディング

● 参加費：会員 240,000 円 / 非会員 300,000 円（税込み・途中返金はありません）

● 受講資格：歯科医師（開業医・勤務医・研修医問わず、非会員の方は今後入会を前向きに検討している方）
● 40 歳以下推奨 / 41 歳以上の方は要相談

● 目的：一歩踏み出しヘルスケア歯科診療を実践すること

● 募集人数：15 人（最少開催人数 10 人）

● その他条件：不測の事態がない限り、全日程に参加できる /
● オンライン（Zoom）で参加できる / LINE に登録できる

● 参考書籍：『ホームデンティスト プロフェッショナル』インターアクション社
『資料もっと！活用 BOOK』クインテッセンス社
『なぜ、あの歯科医院はメンテナンス患者が増え続けるのか？』
デンタルダイヤモンド社

● ※合宿セミナーは配偶者・子どもの宿泊も可能です（別途費用が発生します）。

● ※各種懇親会への参加、ヘルスケアミーティングへのスタッフ参加は別途参加費が発生します。

● 受付締切 5月12日（定員になり次第終了）

※詳細はこのニュースレターに同封のフライヤーをご覧ください。

● お申込み・お問い合わせ

お申込みはホームページまたは QR から
事務局 cener@healthcare.gr.jp



行くよー



オピニオンメンバー会議（第8期 第1回）

2025年3月9日（日）10:00～

AP 浜松町（東京）と Zoom オンライン

☆ 併催 スプリングセミナー 13:30～

講演テーマ 患者中心の医療を学ぶ

 講師：森田夏実（健康と病の語りディベックス・ジャパン）
岩澤倫彦（フリージャーナリスト）

報告 第8期オピニオンメンバーの信任投票結果

一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会 選挙管理委員会

定款8条の代議員選挙規定に基づき、第8期オピニオンメンバー（代議員＝法人の社員）の信任投票結果を報告します。

2024年12月末日をもって第7期の代議員（通称オピニオンメンバー）が任期満了となることに伴い、次期代議員の立候補者（自薦・他薦）を募り、併せて第7期のオピニオンメンバーに対して留任の意思を尋ね、これを合わせてオピニオンメンバー候補者名簿（不信任投票用紙）を作成し、2024年12月3日に全会員あてに送付しました。

2025年1月9日13時半よりオンライン（Zoomミーティング）にて、選挙管理委員会 田中正大委員長、齋藤健氏、安田直美氏の立ち会いのもと、秋元秀俊事務局長が開票を行いました。今回は、返信は2通とわずかで、うち候補者名のいずれかの欄に1箇所以上不信任の「×」印のついた票は1枚でした。これにより田中委員長が候補者全員が信任されたことを確認し、第8期オピニオンメンバー71名が別表のとおり決定しました。



| 氏名 | 資格 | 入会年 | 所在地 | 氏名 | 資格 | 入会年 | 所在地 | | |
|--------|----|-----|------|---------|--------|-----|-----|------|---------|
| 河野 正清 | DR | 留任 | 1998 | 東京都小平市 | 長岡 守 | DR | 留任 | 2007 | 長崎県大村市 |
| 森谷 良行 | DR | 留任 | 1998 | 埼玉県坂戸市 | 若井 広明 | DR | 留任 | 2007 | 東京都江東区 |
| 田中 正大 | DR | 留任 | 1998 | 埼玉県川口市 | 沼澤 秀之 | DR | 留任 | 2009 | 東京都小金井市 |
| 藤木 省三 | DR | 留任 | 1998 | 兵庫県神戸市 | 落合 真理子 | DH | 留任 | 2010 | 東京都八王子市 |
| 国井 一好 | DR | 留任 | 1998 | 山形県山形市 | 樽味 寿 | DR | 再任 | 2011 | 兵庫県宝塚市 |
| 秋元 秀俊 | 他 | 留任 | 1998 | 東京都文京区 | 中本 知之 | DR | 留任 | 2011 | 兵庫県神戸市 |
| 足本 敦 | DR | 留任 | 1998 | 鳥取県米子市 | 志摩 裕美 | DH | 留任 | 2012 | 大阪府岸和田市 |
| 千草 隆治 | DR | 留任 | 1998 | 福岡県北九州市 | 杉山 修平 | DR | 留任 | 2012 | 千葉県八千代市 |
| 高木 景子 | DR | 留任 | 1998 | 兵庫県神戸市 | 澤幡 佳孝 | DR | 留任 | 2012 | 熊本県熊本市 |
| 加藤 徹 | DR | 留任 | 1998 | 山形県東根市 | 大立 美佳 | DH | 留任 | 2013 | 千葉県船橋市 |
| 杉山 精一 | DR | 留任 | 1998 | 千葉県八千代市 | 林 由加里 | DH | 留任 | 2013 | 大阪府大阪市 |
| 宇田川 義朗 | DR | 留任 | 1998 | 東京都江戸川区 | 大本 幸加 | DH | 留任 | 2013 | 兵庫県神戸市 |
| 浪越 建男 | DR | 留任 | 1998 | 香川県三豊市 | 本多 毅 | DR | 留任 | 2013 | 兵庫県神戸市 |
| 大井 孝友 | DR | 留任 | 1998 | 大阪府岸和田市 | 栢富 健二 | DR | 留任 | 2013 | 徳島県板野郡 |
| 藤本 淳 | DR | 留任 | 1998 | 岩手県盛岡市 | 濱田 麻里 | DH | 留任 | 2014 | 大阪府大阪市 |
| 渡辺 勝 | DR | 留任 | 1998 | 埼玉県春日部市 | 山本 修平 | DR | 留任 | 2014 | 兵庫県神戸市 |
| 岡本 昌樹 | DR | 留任 | 1998 | 栃木県栃木市 | 河野 雄一郎 | DR | 留任 | 2014 | 愛媛県北宇和郡 |
| 鈴木 正臣 | DR | 留任 | 1998 | 埼玉県蓮田市 | 堀坂 寧介 | DR | 留任 | 2014 | 兵庫県神戸市 |
| 岡 恒雄 | DR | 留任 | 1998 | 岡山県倉敷市 | 杉山 麻里恵 | DH | 留任 | 2014 | 千葉県八千代市 |
| 寺田 昌平 | DR | 留任 | 1999 | 兵庫県姫路市 | 古市 貴暢 | DR | 留任 | 2015 | 香川県高松市 |
| 槍崎 慶二 | DR | 留任 | 1999 | 茨城県水戸市 | 曾野 偉錬 | DR | 留任 | 2015 | 兵庫県神戸市 |
| 丸山 和久 | DR | 留任 | 2000 | 兵庫県神戸市 | 松尾 真千子 | DR | 留任 | 2015 | 三重県鈴鹿市 |
| 浅埜 尚人 | DR | 留任 | 2000 | 高知県高知市 | 伊東 佑記 | DR | 留任 | 2015 | 福岡県大野城市 |
| 齋藤 健 | DR | 留任 | 2001 | 千葉県市川市 | 西村 誠 | DR | 留任 | 2016 | 大阪府泉大津市 |
| 蓮見 愛 | DH | 留任 | 2003 | 千葉県八千代市 | 飯田 太一 | DR | 留任 | 2016 | 福岡県福岡市 |
| 高橋 啓 | DR | 留任 | 2003 | 愛媛県南宇和郡 | 坪川 正樹 | DR | 留任 | 2016 | 神奈川県高座郡 |
| 安田 直美 | DR | 留任 | 2003 | 千葉県松戸市 | 安岡 大介 | DR | 留任 | 2016 | 兵庫県加東市 |
| 難波 秀樹 | DR | 留任 | 2003 | 岡山県倉敷市 | 寺岡 徳光 | DR | 留任 | 2016 | 愛媛県今治市 |
| 川嶋 剛 | DR | 留任 | 2004 | 東京都国立市 | 後藤 光成 | DR | 留任 | 2017 | 山形県山形市 |
| 林 浩司 | DR | 留任 | 2004 | 栃木県真岡市 | 丸山 修平 | DR | 留任 | 2019 | 埼玉県深谷市 |
| 山田 美穂 | DH | 留任 | 2005 | 東京都荒川区 | 島野 圭介 | DR | 留任 | 2019 | 東京都練馬区 |
| 浜端 町子 | DH | 留任 | 2005 | 埼玉県深谷市 | 平島 美穂 | DR | 新任 | 2019 | 徳島県阿波市 |
| 田村 恵 | DH | 留任 | 2005 | 東京都小平市 | 大塚 杏菜 | DH | 留任 | 2019 | 兵庫県神戸市 |
| 上田 康弘 | DR | 留任 | 2005 | 埼玉県草加市 | 高澤 淳仁 | DR | 留任 | 2021 | 埼玉県志木市 |
| 雨宮 博志 | DR | 留任 | 2006 | 神奈川県秦野市 | 須藤 健太郎 | DR | 新任 | 2023 | 岡山県倉敷市 |
| 小塚 一芳 | DR | 留任 | 2006 | 長野県茅野市 | | | | | ※会員番号順 |

第8期 オピニオンメンバー新任・再任メンバーを紹介

前のページで報告があった通り、第8期オピニオンメンバーの選出により71名が輩出されました。第7期からの留任がほとんどですが、3名の新任・再任メンバーが入られましたので、紹介いたします。(会員番号順)

【自己紹介凡例】

- ① 氏名 開業(勤務)地及び名称
- ② 出身学校(卒業年), 最終学歴等, 当会以外の所属学会, 他役職
- ③ 当学会入会のきっかけ, 関わり
- ④ 会員へ一言



- ① 樽味 寿(再任) 宝塚市開業 医療法人社団たるみ歯科クリニック・理事長
- ② 岡山大学歯学部(1989年卒), 大阪大学大学院歯学研究科(1993年修了), 日本歯科保存学会(専門医), 日本スポーツ歯科医学会(日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト), 日本口腔インプラント学会
- ③ 2003年に開業し, 2006年増築(35坪→70坪)。順調とはいえ, やり直し治療が大半の毎日に悶々としていた頃, 藤木省三さんの講演(2010年)を拝聴し, すぐに入会。その後, 歯科衛生士を育成プログラムに派遣しながらヘルスケア診療に転換(2012年に認証診療所)。これまで15名が認定歯科衛生士となり, 今も若手が挑戦中です。
- ④ 学会との距離を近づけたく, オピニオンメンバーへの出戻りを希望しました。



- ① 平島 美穂(新任) 阿波市開業 へいしま歯科ファミリークリニック・副院長
- ② 徳島大学(2003年卒), 徳島大学大学院(2007年修了), 日本歯周病学会認定医
- ③ 徳島県の認証診療所である阿部敬典さんからADFを紹介していただき, 枘富健二さん, 由佳子さんから第3期藤木塾を教えていただき, 参加したところがきっかけです。
ちょうどコロナのはじめる前に, リアルで藤木省三さんのお話をうかがうことができ, 光栄でした。そこから当院はヘルスケアへと舵を切りました。
2019年日本ヘルスケア歯科学会入会, 2022年認証診療所取得, 海外フォーラムメンバー
- ④ このたび, オピニオンメンバーを拝命いたしました平島美穂です。まだまだ勉強することが多く, 多くの先生を頼りにしております。いつか私もできるようになったことを伝えられる存在になればと思っております。力不足ではありますが, 何卒よろしく申し上げます。



- ① 須藤 健太郎(新任) 倉敷市開業 医療法人須藤歯科診療所・理事長
- ② 東京歯科大学(1998年卒), 東京歯科大学大学院歯学研究科(解剖学)修了, 日本小児歯科学会・日本歯周病学会・日本臨床歯周病学会・日本外傷歯学会所属
- ③ 2022年の日本小児歯科学会中四国地方会にて藤木省三さんと高橋 啓さんの特別講演『人生100年時代の小児歯科に期待すること〜蝕と歯周病を過去の病気にはできるのは小児歯科!〜』を聴講し, “ピーン!”ときたのが再入会のきっかけです。2023年日本ヘルスケア歯科学会入会, 2023年認証診療所取得, 2023年・2024年ヘルスケアミーティングでポスター発表を行いました。
- ④ 本学会での浅い経験は設立趣旨・定款等をしっかり把握し補っていきます。

オンライン サロン 紹介

○ 2025年3月11日(火) 20:30 ~ 健康を創造する予防歯科 食とMFT

口腔内のトラブルの原因に生活習慣が大きく関わることは明白であり, 私たち歯科医療従事者はその原因に対処することで質の高い予防歯科臨床を実践出来るだけでなく, 全身の健康を創造する役割をも担っていると信じている。

今回は機械的なプラークコントロール以外の予防歯科臨床について私見を述べ, みなさまのご意見を賜りたい。
(古仙芳樹)

ウイステリア普及プロジェクト アンケート調査結果報告

(ウイステリア普及プロジェクト)

今回アンケート調査にご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。

回答数が26件と会員数の1割にも満たない回収であったため、数字に関しては略し、記述式でいただいたご意見のみ掲載いたします。

いただいたご意見から、よりよいものにしたいとプロジェクトを進めていきます。

【記述式の回答】

ウイステリアの存在を知ったタイミングについて、現在使用している画像管理ソフトを導入後に知ったと答えた方への問い

現在お使いのソフトを選んだ理由は何ですか？

今後、仮にウイステリアを導入する場合の1番の魅力は何ですか？

今後、仮にウイステリアを導入する上でのハードルは何ですか？

- ・画像に文字やイラストを直接書き込めるから、過去の画像データが膨大すぎてウイステリアに移せない
- ・レントゲンと歯周組織検査、口腔内写真が一元管理できるため
- ・勤務医時代に使いなれていたから
- ・患者さんにiPadで説明できることと、写真を一元管理できること
- ・勤務先で使っていたので、iPadで使用できる、クラウド化されていない
- ・入力のしやすさはハッキリが一番だと思います
- ・ヘルスケア歯科会員診療所に最も沿っている
- ・ファイルメーカーを使用しているの、言語化できる検索はなんでも実行可能なこと
- ・知り合いの先生がいいと言っていたから
- ・勤務時すでに自作ソフトがはいってました

日々診療をしていて、こういうことを知りたいというデータがあったら教えてください

- ・自分の診療内容の頻度CRを月何回やっている、義歯を月何回作ったなど
- ・個々の患者さんで当院で治療した履歴がわかり、医院全体で再治療の数や種類がデータとして出せたら嬉しい
- ・メンテナンスの効果
- ・メンテ離脱の原因と離脱を防ぐために考慮しておく要因の発見
- ・PISAの数値
- ・修復物がどれだけ長持ちしているか
- ・三年後メンテナンス率
- ・口腔機能発達不全関連
- ・歯根破折した歯牙はどのくらいの期間保存可能なのか？
- ・歯科衛生士ごとの担当患者の平均のBOPの割合、6mm以上のポケットの割合、3ヵ月、6ヵ月メンテナンスの割合など、違いを見たいです
- ・口腔機能低下症
- ・歯科衛生士ごとの歯周組織検査の結果集計(BOP、6mm以上など)
- ・抜歯原因
- ・知りたいデータは入力しないといけない、と知っています(笑)

ウイステリアを使用するとしたら一番の障害は何か

- ・いかに診療中・診療後の手間を減らせるか
- ・既存のシステムとの関係性、連続性
- ・毎日の入力がめんどろくさい
- ・入力の手間、ユニットでiPadに入力したい
- ・エクセルと違う操作感、慣れる必要あり

- ・情報が一部の方に偏っているイメージがありそれが障害でしょうか、求めれば答えは得られるのですが、何かあったときに解決策を気軽に聞ける環境があれば助かります。またデータを入力するにしても統一した入力の仕方がわかっておらず自己流でしている可能性があり、知り合いに聞きながら解決していますが、この入力であっているのだろうかと一抹の不安を抱えて入力しているのが現状です
- ・なぜウイステリアを使うのかという部分
- ・ソフトのサポートが脆弱
- ・写真登録時も、必ず顔写真は取り込みに時間がかかる。写真説明時にいつもフリーズしてしまったり、比較説明が画像がすぐ出ず時間がかかる。時間との勝負なので、早く画像を取り込みたい、説明したい。歯周組織検査はデンタルXを使用しているため、入力業務が多く、歯科衛生士の負担が大きい、当院のDrはウイステリア全く使用しないので、大きさが分からない(院長はウイステリア使用しないので、代わりにDHが記入しました)
- ・データの集計出力
- ・導入の仕方
- ・一度カスタムするとその後の新しいバージョンに移行するのが困難になると聞いています。なるべく多くの方の意見を取り入れて、基本システムに取り入れ、バージョンが上がっても変わらずに以前のデータを使用できるようにして欲しいです
- ・販売代理店がきちんとあるサポート体制
- ・入力の時間、入力が大変
- ・Filemakerが直感的ではない、カスタマイズフリーは自主性を問われる。
- ・ファイルメーカーを基本にしていること
- ・ファイルメーカーの値段と更新
- ・アポイント他メーカーのものと比べるとちょっと扱いづらい
- ・「あれもできるこれもできる、ではなくてこんなふうに単体で使っている」をもっとアナウンスしていいように思います
- ・バージョンアップの際にファイルメーカー自体のバージョンアップが必要、サーバー版を使った場合のサポート体制ができていない

ウイステリアを使用している方にお伺いします。ウイステリアを使っていてよかったという点を教えてください

- ・あまりデータとしては活用していません
- ・項目ごとに集計することができる
- ・実際の臨床に活かせる機能が多いこと
- ・データの集計が楽になりました。これからは集計を続けます
- ・すべての項目が検索できる
- ・検索の自由度
- ・来院履歴の集計ができること
- ・来院状態と集計が容易にできる
- ・クリニック独自のデータが出せるはず？ まだ出し方がよく分からない。
- ・自分の疑問に思うことを検索できる
- ・学会のDoプロジェクトに参加できている
- ・検索条件を絞りながら、名前が出てこない患者さんにいつも辿り着けること
- ・当院はデンタルXを使用していますが、統計に関してはほぼ対応してくれていません。来院履歴はこちらでないと出せませんので、入っていて良かったと思います
- ・集計は現在使っているソフトが対応していない以上は他に頼るしかなく、その中で、FileMakerを使用しているというのは自分で知りたいことを知ることができるという意味で大変良いソフトだと思います
- ・カスタマイズと検索、集計。でもそれは皆さん難しいみたいです
- ・CRASPがiPadで管理できること
- ・画像や検査結果をアポイント表からすぐに出せる。他のソフトに比べてカスタマイズが可能
- ・現在、いろんな要望に応じてバージョンアップしてくれているところ

- ・写真管理、アポイント、来院履歴、メモ欄、調査1のための初診患者データのみの使用ですがウイステリアなしはもう考えられません
- ・自院メンテナンスの来院状況を比較的簡単に検索でき、知ることができる
- ・自分の調べたいことを入力できるなど、カスタマイズ性が高い

- ・誤入力した時に「元に戻す」ボタンがあると嬉しいです
- ・当院も世代交代です。オリジナルソフトから、徐々にデンタルXの比重が高くなっています。これは、後継者が、FMと私のサポートに不安があるからです。現サポートも今後30年というわけにはいかないのです
- ・これからも活用したいと思っています
- ・治療成績に関連した（脱離、再根治、破折など）がわかる、そこから医院の傾向がわかるようになって欲しいです
- ・もうカスタマイズの話はしない方がいいです。できる人はやってもいいですがファイルメーカーを新しくした際に困るケースがあることも伝えないといけません。アクセスにやってもらったとしても彼がダウンしたら…ですのでメモ欄の上手な使い方を紹介するといいいのではないのでしょうか
(文責：島野圭介)

その他何か気になること

- ・初期中等度の歯周病の進行度の定義が、歯周病学会と違っている。
- ・カスタマイズ性をなるべくなくしてほしい。Doプロジェクトでも問題になったように他の医院との比較が困難になる。バージョンも変更しづらくなる。会員全体としてほしい情報を検討し、代表的な項目としてはそれを標準の機能として搭載してほしい。その上で、他院との比較など、標準的な比較が簡便になるようにしなければ広まることは難しいと思います



2020年度に定款が改定され「終身会員制度」の新設に併せて、正会員歴20年以上かつ70歳以上の方を「永年会員」として表彰しています。

今回は2024年12月31日までに対象の年齢となられた方の表彰をいたします。永きに亘り当学会の活動に貢献されてきたことに感謝し、学会として記念賞状と記念品をお送りいたします。

これからも当学会の活動にご支援・ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げます。

| 入会年 | 氏名 | 勤務先名 | 所在地 |
|------|------------|----------------|---------|
| 1998 | 岡田弥生 | 岡田やよい歯科検診クリニック | 東京都杉並区 |
| 1998 | 松本英彦 | 医)新医研 松本歯科医院 | 東京都板橋区 |
| 1998 | 都筑文男 | 医)つづく歯科医院 | 塩尻市 |
| 1998 | 渡辺眞生 | 歯科渡辺医院 | 久喜市 |
| 1998 | 河野正清(終身会員) | | 小平市 |
| 1999 | 竹中美奈子 | 竹中歯科医院 | 安芸郡府中町 |
| 2002 | 松本 理 | マツモト歯科医院 | 東京都大田区 |
| 2004 | 田中純一 | 平内歯科クリニック | 東津軽郡平内町 |
| 2005 | 松本 修 | 松本歯科医院 | 岩瀬郡鏡石町 |
| 2005 | 岩橋廣行 | 岩橋歯科医院 | 阿南市桑野町 |

※この内容は、2025年2月1日の会員登録情報を元に作成しています。生年月日が不明な方は掲載されておりません。また情報の間違いにお気づきの方は、事務局までお知らせください。

会員数 歯科医師：589名 歯科衛生士：369名 歯科技工士：3名 その他：41名 計1002名 (2025年2月1日現在)

訃報 2024年に事務局で把握した会員の訃報は次の通りです。長年の地域歯科医療へのご貢献を讃えるとともに本会へのご協力を謝し、心からお悔やみ申し上げます。

■ 桜田 里実 様 (札幌市) 2024年5月3日歿 享年41(40歳)

□新オンラインサロン(無料・登録不要) 毎月第2火曜日

- 2025年3月11日(火) 健康を創造する予防歯科 食とMFT(古仙芳樹)
- 2025年4月8日(火) 未定
- 2025年5月13日(火) 未定

□Webセミナー(有料・要登録)

- 2025年5月20日(火) 11:00~12:30 ヘルスケア歯科衛生士新人初期研修(第1回)

ウェビナー告知板


雑誌掲載

報告：大井孝友

根面被覆術 First Step !**ブチ根面被覆のススメ**

後編：術中・術後トラブルへの対応と結合組織の可能性

芳賀 剛

ザ・クインテッセンス 12月号 p.82-89 クインテッセンス出版

QDT Beginners Manual for Dentist**印象採得**

高山祐輔

第1回 インレー修復治療における印象採得

QDT 1月号 p.104-107 クインテッセンス出版

第2回 オーバーレイ(オクルーザルベニア)治療における印象採得

QDT 2月号 p.92-95 クインテッセンス出版

あるあるトークでふりかえる DH 臨床のエラー

落合真理子 他

⑫口腔内規格写真の撮り方・活用の仕方がわからない

歯科衛生士 12月号 p.50-53 クインテッセンス出版

読者が本当に聞きたいこと、全部答えます。2024年上半期②**根面う蝕の活動性の評価で「硬さ」はどのように判定しますか？**

久保至誠

歯科衛生士 12月号 p.72 クインテッセンス出版

フッ化ジアンミン銀とフッ化物配合パーニッシュの使用法が知りたいです

久保至誠

歯科衛生士 12月号 p.73 クインテッセンス出版

根面露出のプロケア・セルフケアはどうすればいいですか？

杉山精一

歯科衛生士 12月号 p.82 クインテッセンス出版

最新カリオロジーに基づいた**う蝕のアセスメント&マネジメント**

麻生幸男 他

①進化を続けるう蝕リスク評価システム「CAMBER®」

歯科衛生士 1月号 p.48-55 クインテッセンス出版

②う蝕リスク評価管理におけるブラークコントロール

歯科衛生士 2月号 p.54-61 クインテッセンス出版

あるあるトークで考える DH のお悩み解決策

落合真理子 他

①院内コミュニケーションに自信がもてない

歯科衛生士 1月号 p.56-59 クインテッセンス出版

②患者さんとのコミュニケーションが苦手

歯科衛生士 2月号 p.62-66 クインテッセンス出版

「お気をつけて、ご来院を」～歯医者さんの受付日誌～

高橋 啓 (ペンネーム：坂本慎太郎)

第12回 町の健康教室と元気な高齢患者さん

nico 12月号 p.49-51 クインテッセンス出版

第13回 歯医者選びは難しい？

nico 1月号 p.43-45 クインテッセンス出版

第14回 転居するときの歯科医院選び

nico 2月号 p.51-53 クインテッセンス出版

予防の常識・非常識

藤木省三

nico 1月号 p.60-61 クインテッセンス出版

特集 歯の根の治療、はやく終わらないの？

泉 英之

nico 2月号 p.10-23 クインテッセンス出版

魂のハイジーンワーク 次世代へのバトン**「治して守れる歯科衛生士」を目指して**

奥山洋実

DHstyle 2025WINTER p.86-92 デンタルダイヤモンド社

禁煙支援成功のネタ帳 第8回**「実任期・維持期」の禁煙支援の大切さと「再喫煙」時のフォロー**

後藤光成

DHstyle 2025WINTER p.124-126 デンタルダイヤモンド社

エビデンスに基づくう蝕予防プログラム

麻生幸男 他

②う蝕病変の検出と診断

デンタルダイヤモンド 12月号 p.76~81 デンタルダイヤモンド社

③う蝕病変の活動性とリスク

デンタルダイヤモンド 1月号 p.78~83 デンタルダイヤモンド社

④う蝕リスクの評価

デンタルダイヤモンド 2月号 p.70~75 デンタルダイヤモンド社

海外ジャーナル Watching**MIHの臨床戦略 EAPDの指針から学ぶ**

寺岡徳光

デンタルダイヤモンド 1月号 p.111 デンタルダイヤモンド社

〇〇で悩む先生に伝えたい自由診療の幸福論**連載に寄せられた質問に答えます！**

高山祐輔 他

デンタルダイヤモンド 1月号 p.128-130 デンタルダイヤモンド社


書籍
COLOR ATLAS No.54**予防歯科のすすめ**

岡 賢二, 杉山精一, 高木景子, 長谷川雄一, 林美加子,

丸山和久 他

松風社

別冊クインテッセンス YEARBOOK2025**8ステップで学ぶ！自家歯牙移植 Q&A**

泉 英之 他

クインテッセンス出版



歯科クリニックのパソコンネットワーク 環境健全化計画 その1



森 一弘 (学会認定ウイステリアサポート技術者 アクセス代表)

☆アクセス

〒 842-0033

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町豆田 2103-13

TEL. 0952-51-1776 ・ FAX. 0952-51-1767

携帯 090-1920-7894

URL <https://www.access-dental.jp/>

URL <http://www.access-pcdoc.jp>

E-mail kazu@access-pcdoc.com

かれこれ 25 年以上、歯科医院のシステムに関わらせていただき、数多くの院内パソコン環境をみてまいりましたが、ひとことであらうと、かなりずさんな状態が多いことにびっくりしました。「ずさん」と言うといいすぎですが、院内のネットワークについて全体を明確に把握している人がいなかったり、ネットワーク内のパソコン全部がウィルスに感染していたり、私の場合ほとんどが既存の環境に新たなシステムを導入することが多く、最初は全体を把握したり、ウィルス駆除をしたりで時間を費やすこともありました。

なぜこんなことが起こるのか、歯科医院といえば、多くは小規模オフィス 10 名～20 名ぐらいの人員構成で、基本的に院長はプレーイングマネージャーであり、本業以外に多岐にわたる業務をこなさなければなりません。ましてやコンピュータのプロではないので、院長が院内のパソコン環境すべてを永続的に把握し、詳細を理解することはほぼ不可能に近いです。だからといって、院内で別の責任者に任せてたとしても、歯科医院は基本女性中心の職場、家庭的な事情などで医院を離れることもしばしば、ほかにも、レセコンやデンタルエックス線などのシステム業者に任せていたが、その担当者が転勤や退職でいなくなった。これまでみてきた歯科医院のほとんどはこういった状況におかれ、いつの間にか先に述べた「ずさん」な管理状況にすすんでいくようです。

今や院内のパソコン環境といえばネットワークがあたりまえになり、そのうえでレセコンやデジタルエックス線などはじめ複数のシステムが稼働していることでしょう。基本的には、その各メーカーがトラブルなどの対応にあたるはずですので、セキュリティを含めたもろもろのシステム管理は各メーカー任せです。その点は安心ではあるのですが、あくまでもそれはそのメーカー単体での話です。おそらくほとんどの医院では院内に 2 つ以上の異なるシステムが存在するはずで、当然のことな

がら、各メーカーは自身のシステムの安全管理が仕事であり、他社のシステムについては管理外です。

さらに院内では、電子メールのやりとりやインターネットを使っての情報収集もあたりまえとなつて、その部分は、先に述べた歯科専用のシステムメーカーとはまた別の管轄、これら複数のシステムが院内に存在し、それぞれに違った責任の元で運用されていることで、院内のネットワーク環境全体の把握をさらに難しくしています。

院内システムには患者さんの個人情報が存在しています。これについて各メーカーが個々に安全管理を充実させていても、そのシステムを使う側のスキルや意識にばらつきがあれば、必ずしも安全が確保される保証はありません。ハード面とソフト面での管理に加え、それを使う側の統一の意識やルールがあつてこそ、院内ネットワークの安全が保たれます。

これを実現するために、各メーカー個別の管理だけでなく、それらを統括する総合的な管理、そしてその把握が不可欠であるということです。

大企業とちがって、予算的にも、人員的にも、時間的にも、できる投資はある程度限られてきます。そしてその総合的な管理や把握が今の多忙な院長職の中でどこまでできるのか、疑問は尽きないでしょう。

今回より、「歯科医院のネットワークを安心安全に運用していく方法」をテーマに、過剰過ぎず、少なすぎないバランスのいい投資で、ハード的な部分、ソフト的な部分、人的な部分について細分化して、ご紹介していきたいと思つています。けして院長が一人で背負いこむご提案ではなく、アウトソーシングも含めてどのように分業しながら実現していくかのご提案です。

次回より細分化してお伝えしていきたいと思つています。



SNS/YouTube で情報発信中!

学会 web サイトの更新情報(セミナー・イベント情報)をほぼ
随時発信中! 医院のスタッフの方もどなたでも登録 OK!
*会員限定のメールマガジンも不定期配信中! 事務局までメー
ルアドレスを登録してください。



ウェビナー報告

新オンラインサロン 2024年12月～2025年1月

新ヘルスケアオンラインサロン

2024年12月10日(火)20:30～ 運営：古市
修復物サバイバルプロジェクトから

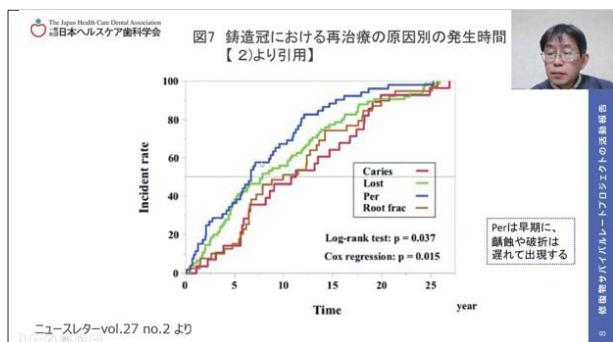
今年、修復物サバイバルレートプロジェクトの皆さんの成果が、日本補綴歯科学会会誌に掲載された*。

これは「本邦のメタルクラウン補綴の10年生存率は6割程度」という文章に疑問を持たれた丸山和久さんの発案で始まったプロジェクトで、羽山勇さん、大井孝友さん、難波秀樹さん、堀坂寧介さん、山本修平さんと数年かけてまとめあげられた。

このような補綴物、修復物のサバイバルレートを長期に追跡する研究はほとんどない。国内の過去の研究でも、抜歯適応歯牙を患者への聞き取り調査から報告しているなど、研究デザインとして今日でも受け入れられるものはさらに少なくなる。海外の研究も、そもそもメタルインレーが存在しないなど、保険制度や社会背景などのベースが違い過ぎて比較が容易にはできない。今回の研究は、そのような難しい状況を踏まえて、さらに選択バイアスを可及的に小さくし、今日の統計解析方法を用いている。プロジェクトのみなさんの苦労は計り知れない。

研究の詳細な内容に関しては、ニュースレター vol.27 no.2 での堀坂さんの解説を参照していただきたい。今回のサロンでは、研究のパブリッシュまでの裏側の苦労話、よもやま話をざっくばらんに話していただいた。

今日の統計解析に通用する研究とするためには、事前に綿密な研究デザイン、調査のプロトコル、倫理審査を考えないといけない。久保至誠先生（長崎大学）と桃井保子先生（鶴見大学）のご助力を得ながら準備をし、プロジェクトのみなさんの6医院で慎重に症例を集められた。



忙しい臨床の合間を使って症例を集め、さらにそれを解析するために夜遅くまでZoomで話しあったと聞いて、皆さんの情熱に感心した。224症例を10年以上に遡って詳細をチェックしたという羽山さんをはじめ、プロジェクトのみなさんは、自分の介入した治療の結果を客観的に見直せてよかったと感想を述べられていた。一つひとつの診療を検証し、それを踏まえて次の診療にフィードバックする姿勢は、まさにヘルスケア診療所ならではのと思う。

研究の結果から、鑄造冠の生存率はメンテナンスの有無に関係しないとなった。プロジェクトのみなさんもこの結果にはショックを受けたそうだが、調査プロトコル上でのメンテナンスの定義が厳しいものであるうえで、鑄造冠脱離の原因を精査すると納得のいく結果だった。大井さんのおっしゃるように、脱離原因をう蝕と限定した場合には、メンテナンスの有無が生存率を左右すると言える。

今回の研究は、我が国における保険診療の結果を客観的に評価する素晴らしいものである。保険診療に携わる歯科関係者に、もっと広く知ってもらいたいと思った。

(報告：古市貴暢・医社) 明恵会 古市歯科医院)

*堀坂寧介, 久保至誠, 丸山和久ほか. 全部鑄造冠, 前装鑄造冠の生存時間に関する多機関共同後ろ向き研究. 日補綴会誌. 2024; 16(1): 49-57.

https://www.jstage.jst.go.jp/article/ajps/16/1/16_49/article-char/ja



2025年1月14日(火)20:30～ 運営：島野
突撃！隣のサブカルテ

今年の初めも寺岡徳光さんに担当いただきました。

歯科医師生活10年ということで、今興味を持っているデジタル、3Dプリンターについてのお話の後、参加者の今年の抱負を聞き、その後サブカルテについてそれぞれ画像を共有してもらいました。

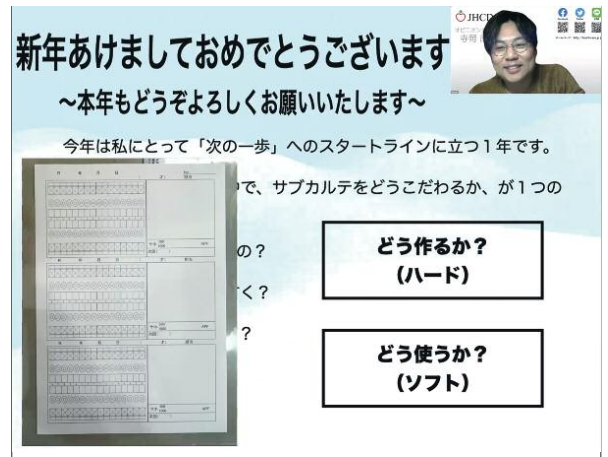
茨城県の吉田幸司さんはデジタルサブカルテを使用しSOAP形式で入力。記入が楽で全身疾患など注意事項が把握しやすいとのことでした。

兵庫県の曾野偉錬さんは紙からデジタルに移行されたそうです。いろいろなソフトが出ているのでランニングコストを考え導入する、デジタルの良いところはいろいろ変えやすい、直感ですぐ書けるのでアナログと変わらない、フォーマットを作るのは大変だけれど思ったよりも使いやすいくとのことでした。また、診療室だけでなく別の場所でもチェックができたり、写真を貼り付け書き込めるのも良い点とのことでした。

落合真理子さんからは歯科衛生士目線でみた充実したサブカルテにするために必要なこと、についてお話いただきました。

寺岡さん曰く、サブカルテは「交換日記」のようなもので、どうこだわるかが課題ということでした。また、「サブカルテに時間をかけて話をするのはヘルスケアくらいだろう」という一言は、確かになあと思いましたが、これをもっと広めていけないといけなあと感じました。

(報告：島野圭介・島野デンタルオフィス)



ヘルスケア フォーラム

第17期 歯科衛生士育成基礎コース 2024年11月10日 新大阪歯科衛生士専門学校

実技実習 第2回

今回の実技実習では午前にはシャープニング実習、午後にはコミュニケーション実習を行いました。

シャープニング実習ではまず、正しいテストスティックの当て方を学びました。私は勤務先で実際にシャープニングを行ったことがなかったので、スケーラーの持ち方や当てる角度、動かし方などすべてが初めてでした。最初は13/14のキュレットのテスト時にスケーラーをうまく動作できず、苦戦しました。その後11/12のテストをするとスケーラーをスティックに正しく当てることができ、音を出せるようになりました。自分は13/14より11/12の方がうまくできると知ることができました。初めてのシャープニングで、自分だけができていないのではないかととても焦りました。しかし今回の実習を通してスケーラーやストー

ンの持ち方や当て方、動かし方などの基礎を細かく学ぶことができてよかったです。

午後のコミュニケーション実習では、最後に行った初診の医療面接の実習がとても印象的でした。2人ペアで歯科衛生士役と設定された患者役になりきり、医療面接の実習を行いました。患者さんの

性格に合わせて、話し方や会話のテンポを臨機応変に対応するのが重要だと学びました。今までの自分を振り返ってみると、医療面接で患者さんの思いや正確な情報を引き出すことができていなかったと実感しました。医療面接は苦手ですが、患者さんと自分にとってプラスになるようなコミュニケーションが取れるように、これからも勉強していきたいです。

恵 姫菜 (歯科衛生士・
医社) たるみ歯科クリニック)



大阪ワンデーセミナー 2024

2024年12月8日（日） 大阪歯科大学 100年記念講堂

開催報告



山本修平（神戸市開業）

2024年12月8日（日）、大阪歯科大学100年記念講堂にて大阪ワンデーが開催された。

9月に台風の影響で延期となっていたが、参加者は200名を超え、会場はほぼ満席となった。関東からの参加もあった。

運営幹事の西村 誠さんから主旨説明、諸注意があり、そのあとは本多 毅さんが司会を担当された。

講演のトップバッターは高木景子さん



が「人を診る，チームで診る」というテーマで講演された。明日からみんなで頑張ろう，と背中を押してくれる講演内容だった。

2番目はミスターヘルスケア，藤木省三さんが登壇され，チームで行う人生100年時代の歯周治療というテーマで講演された。学生の参加もあったことから「ヘルスケア診療とは」を新しいスライドも加えて解説された。UP-SRPについても初めて聞く参加者にもわかりやすく説明された。

昼休憩を挟み午後からは高橋 啓代表がカリスママネジメントについて，訪問診療の症例もまじえながら講演された。その後は関西ヘルスケア歯科談話会（以下：関ヘル）の設立から今日までの経緯を知る方々の座談会が行われた。座長は神戸市の丸山和久さん。パネリストは泉大津市の西村吉行さん，姫路市の寺田昌平さん，岸和田市の大井孝友さん，高橋代表の4名。丸山さんの名司会で和やかに壇



上討議が行われ，西村さんが関ヘル設立から休止までの歴史を当時を思い出しながら説明された。寺田さんはスタッフみんなで関ヘルに参加していたことが，医院の業績も右肩上がりだったと述べ，医院全員で同じセミナーを受講することの重要性を語った。短い時間だったが関ヘルの歴史がしっかりと参加者にも伝わるあたたかい座談会となった。

最後のパートは，神戸市のその歯科クリニックが高齢者への取り組みを，泉大津市の西村歯科が小児への取り組みを，スタッフがメインで発表した。両医院とも素晴らしい取り組みをされていて，受講者の拍手喝采を浴びた。

最後に兵庫ヘルスと関ヘル阪和が再び一緒になり「シン・関ヘル」として再始動することを案内して閉会となった。

参加報告

20年前の関ヘルが私のヘルスケア診療の出会い

私がヘルスケア診療と出会ったのはまさに20年前の「関西ヘルスケア歯科談話会」，通称「関ヘル」でした。

私は口腔外科教室の研修医あがりで，予防の予の字も知らない私が当時，勤務したのが，関ヘルの代表をしていた金尾好章院長の金尾好章歯科医院でした。金尾院長に連れられてなにもわからないまま，関ヘルの会場の一番後ろの席で，公演をカメラで撮影しながら聞いていました。その当時，参加されている方々は私と同じ30歳前後の先生

はあまりおらず，開業医の方がほとんどでした。今回，シン関ヘルでも登壇された先生方が当時もヘルスケア診療について，大いに熱をもって語られており，そこでヘルスケア診療は何たるかを私も少し理解したように思います。しかし，開業前にヘルスケア診療に出会っていながら，いまだに自院でのヘルスケア診療が確立できていないことはとても歯がゆく，情けないところです。ただ，昔の関ヘルでの出会いが，今もこうしてたくさんの方々とのつながりの場であること，そして新しい出会いの場になっていることはとても心



強く、頼もしい限りです。

当時の関ヘルの先生方に出会い、人間臭いところがとても好きでいまだに声をかけてくださる関係でいることに感謝です。「シン・関ヘル」になって、私もまたあの当時の方々のように熱くなれる場所になったらと思っております。

杉 真一郎 (医)すぎ歯科クリニック



大阪ワンデーセミナーに参加しました。先日、当診療所が認証診療所に合格したこともあり、多くの方からおめでとうの言葉と「まだスタート地点に立っただけ。これからも頑張るね」という激励をいただきました。

所用で14時までの参加でしたが、すごく面白いセミナーでした。

とくに印象に残ったのが、高木さんの発表です。スタッフからの

「一生懸命ってダサくないですか？」

という質問に対して

「一生懸命はダサくない！」

と反論するくだりです。

歯科医療の勉強や業務を給料以上に一生懸命やることは、現在の「コスバ」「タイバ」重視という風潮に合わない、という冷笑的態度に物申すという意味合いでしょう。雇用主に対していい度胸だなと思うと同時に、スタッフの気持ちもわかるような気もしました。

私自身があまり頭の良い人間ではなく、勉強もあまり得意ではありません。何よりも「努力をしたうえでうまくいかなかったら、いよいよ自分が能力の劣った人間であることを直視する羽目になる」ので、努力自体を避けて生きたいと常々思っているからです。

一生懸命にならなければ、何かができなくても「別に本気でやってないし」という言い訳がたち、傷つくことはありません。

これは個人的な意見ですが、自分の能力が足りないなら、それでもいいと思います。一生懸命にやったうえでできないのであれば、素直にそれを認めて、できる人に助けを求めます。本当に一生懸命にやったうえで助けを求めれば、必ず誰かが助けてくれます。一生懸命やること自体を避けるような冷笑的態度のほうがダサいと思います。

私がセミナーに参加するのは、一生



懸命臨床に取り組む方々の発表を聞き触れ合うことで、とすれば「べつに本気でやってないから、できなくてもいいんだもん」というダサイ方向に流れようとする自分に活を入れるためです。

一生懸命はダサくない！ 今後もヘルスケアセミナーに参加し、自分に活を入れ続けたいと思います。

長崎祥吾

(ワコ歯科・矯正歯科クリニック)



新規公認団体

シン・関ヘル 爆誕！

山本修平 (神戸市開業)

大阪ワンデー2024の閉会の挨拶をするなかで、「関ヘル阪和」がほぼ休眠状態であることや兵庫ヘルスのセミナーに大阪方面から多数参加があることなどを鑑み、「兵庫ヘルス」と「関ヘル阪和」が統合され、名称が「シン関西ヘルスケア (略してシン・関ヘル)」になることを最後に発表しました。今までの丸山 (和久) 流を踏襲しあ

たたかい雰囲気の中にもしっかりと学べる活動をしていく予定です。新たに参加を希望される方は下記にご連絡ください。会員登録いたします。早速5月11日に大阪・千里ライフサイエンスセンターにて、デンタルのセミナーを開催します。どなたでもご参加できます。全国各地からの申し込みをお待ちしています。

山本修平 syuhei@ydc-suma.com
西村 誠 nishimako1985@gmail.com



連載 19

フォーラム

フォーラム

【ヘルスケアと赤ちゃん歯科】 ウェル baby イング

小林小雪（歯科衛生士・宇田川歯科医院）



会員サイト内：[赤ちゃん歯科ブログ]

【赤ちゃん歯科を学んでの育児】

2021年に東京へ移り、宇田川歯科医院に勤務しながら赤ちゃん歯科を学んでいます。赤ちゃん歯科では、妊娠中から生後間もない赤ちゃんの歯や口腔の健康を守るための知識や技術を習得するだけでなく、赤ちゃんとその家族全体を包括的にサポートする姿勢を学びました。そして、自分自身も子どもを授かったことで、学んだ知識を実生活で活用する機会が増え、子育てと専門知識が結びつく新たな視点を得ることができました。うまくいったこともあれば、予想外の困難に直面することもありました。

たとえば、夜泣きの際に赤ちゃんをCカーブ抱っこしたり、おひなまきを試したりすることは赤ちゃん歯科で学んだ対処法の一つです。しかし、それらを実践しても子どもが泣き止まないとき、「どうして泣き止まないんだろう」「私の対応が間違っているのだろうか」と不安になってしまうことがありました。ただ、赤ちゃん歯科での学びがあったおかげで、「できることはやった。今はこの子にとって泣くことが必要なんだ」と心の整理ができ、不安に押しつぶされることはありませんでした。知識を持つことで、問題解決に至らなくても、自分の行動に納得できるようになり、安心感を得られたのはとても大きな成果だと感じています。

また、最近では、子どもがみかんの皮を自分で剥けるようになっていくことに気づきました。それまでの成長の記録を見てきて、この新たなスキルに驚きましたが、一方でその瞬間を見逃してしまった自分に悔しさも感じました。子どもは日々成長しており、小さな変化も見逃さない観察力を持つことが大切だと改めて痛感しました。この出来事をきっかけに、勉強会で聞いた「簡単にできる課題（○の課題）ではなく、頑張ればできる課題（△の課題）を提供することが成長を促す」という話を思い出しました。子どもの成長を見極め、今の子どもにとっての「△」が何なのかを理解し、それを適切に提供できる親でありたいと考えています。子どもの成長は単なる結果ではなく、親や周囲がどのように関わるかによって方向づけられるものだと実感しています。

赤ちゃん歯科で学んだことが私の子育てのあり方を大きく変えたことは間違いありません。この知識がなければ、子どもとの向き合い方や成長に対する考え方は全く違ったものになって

いたでしょう。泣くことや失敗することを過度に心配し、すべてを解決しようとして自分も子どもも追い詰めてしまっていたかもしれません。しかし、赤ちゃん歯科で学んだおかげで「失敗も大切な学びの一つ」「子どもが自分で経験することを見守る」ことの重要性を理解し、子育てにおいても自分自身を安心させることができました。

育休中は、子どもとじっくり向き合うことで、成長のペースや特性を観察する機会が多くありました。そのなかで、子ども自身が持つポテンシャルを最大限に引き出すためには、適切な環境や挑戦の場を提供することが重要だと実感しました。この経験を通じて、育休から復帰した後は、同じように子どもの持つ可能性を最大限に引き出すサポートができる歯科衛生士でありたいと強く思うようになりました。ただし、そのためには専門的な知識だけでなく、家族の生活背景や想いに寄り添い、共感しながら一緒に歩んでいく姿勢が欠かせません。

私自身、赤ちゃん歯科を学んだことで、子どもへの接し方や成長に対する視点が変わったように、地域の子どもたちとその家族にも、健康だけでなく、成長をサポートするための気づきや安心感を提供したいと考えています。歯科衛生士としての専門知識や技術を磨き続けることはもちろん、家族の思いに寄り添いながらも、専門家としての確かな意見を提供するバランスを大切にしたいです。

これからも赤ちゃん歯科で学び続けることで、より多くの子どもたちやその家族の役に立てるよう努力を続けていきます。地域全体の子どもたちの健康を支え、一人ひとりが持つ可能性を最大限に引き出せるような支援を行うことで、子どもたちが明るい未来を築ける環境作りに貢献していきたいと思っています。



★月1回21時からZoomミーティングを行っております。
お気軽にミーティングに遊びにいらしてください

マー君の
enjoy my life

2020年2月末(65歳)で
開業38年目の河野歯科を
廃業して、毎日が日曜日の
生活を過ごしています。
なかなかいいもんですよ。

Vol.17 前立腺癌かも

by 河野正清

PSA 検査ってご存知ですか？
前立腺癌腫瘍マーカーを測定する検査
で4.0ng/mL 以上の場合は前立腺に何ら
かの異変があると推測され、10 以上の場
合は前立腺癌が疑われるそうです。
私は毎年または2年ごとに人間ドック
を受診しています。表の通り2020年、
2022年の数値は問題なかったのですが
2023年3月の数値が一気に14.63とブレ
イクしていました。人間ドックの検査結
果説明時、癌、良性腫瘍、炎症、外的刺
激、等原因は癌とは限らないが追加の検
査が必要だと告げられました。精密検
査を受けられる病院の泌尿器科を紹介さ
れて受診し前立腺生検を行うこととなり
ました。検査予約をして帰ってきました

が、なんかちょっと心に引っ掛かりがあ
ったので、学会事務局に出向き秋元秀俊
さんに相談しました。前立腺生検はメチ
ャメチャ痛いし、たとえ前立腺癌でも当
分は命に関わらないと教えられ、生検予
約をキャンセルしました。
ただ、まったくの放置はできないと思
い自宅近所のかかりつけの医院で事情を
話して、しばらくの間時々数値を測定し
ながら様子を見ることにしました。僅か
1年でPSA値がこんなに増加することは
珍しい、と言われ4月に再検査すると
なんと5.09でした。まあ検査ですから何ら
かのエラーが起きる可能性は0%ではな
いので、その後数ヵ月ごとに測定した結
果は表の通りでした。従姉妹の夫の医者

にも相談すると「PSAは当てにならない
から気にする必要はない」とバッサリで
した。

本当に腫瘍が存在するのであれば、多
少の増減はあってもほぼ正常値になっ
たりしないだろうと考えて、もう気にしな
いことにして定期的測定も辞めにしまし
た。受診した泌尿器科の先生の判断が間
違っていたとは思いませんが、医療上の
判断を下すときには患者側も情報収集を
したうえで、自らの責任と判断が必要
なんだなぁと強く感じました。2025年3月
には再び人間ドック受診予定なの
で、ちょっとドキ
ドキしながら過
している今日この
頃です。

| 検査日 | PSA |
|----------|-------|
| 2020年3月 | 2.78 |
| 2022年3月 | 4.81 |
| 2023年3月 | 14.63 |
| 2023年4月 | 5.09 |
| 2023年7月 | 9.74 |
| 2023年12月 | 3.90 |
| 2024年5月 | 4.15 |







譲ります

『Panasonic 細菌カウンタ』一式
無料で、差し上げます。
送料のみ着払いにてご負担くだ
さい。

連絡先：渡辺 勝 わたなべ歯科
(埼玉県春日部市)
nabedc@mtc.biglobe.ne.jp







※前回掲載分 (vol 27 no 5) は、すべて次の職場が見つかりました、ありがとうございました。

募集中!! 使わないモノ、欲しいモノはないですか？ 写真添付のうえ、事務局までメールください。

vimeo



もっと活用しまSHOW!

「Vimeo「リエスマネジメントセミナー全7回」を院内研修に活用して

当院では毎月一回院内で勉強会を行っておりますが、今回杉山精一先生の「リエスマネジメントセミナー全7回」の動画を活用いたしました。まだ3回目を視聴したところで途中ですが、クイズ形式の講義もあり、スタッフ全員で楽しく勉強して

います。ICDASとXR、CRASPは以前から導入していましたが、改めて詳しく説明を聞くことで重要性ややり方、活用方法を確認することができました。当院のスタッフは経験年数がさまざまですが、一緒に講義を受けることで院内に正しいやり方を確実に取り入れることができそうです。

1回30～40分なので院内勉強会の時間にちょうどよく、歯科衛生士だけでなく、歯科助手や受付も一緒に視聴したので歯科衛生士に質問なども出てお互い勉強になりました。1年間シリーズレンタルを選択したので新しいスタッフが入ったときや、疑問点が出たときにも何度でも復習でき、気になるところや大事なところを巻き戻して見返せるのもありがたいです。

(原 信雄・八女郡広川町開業)

みなさんの便利な活用方法をニュースレターで教えてください！ 投稿、お待ちしております。



口腔内規格写真 Perfect Master



パソコン・タブレット、スマートフォンに対応

いつでも・どこでも！
一人でも・グループでも！
自分のスタイルで学びが得られる！

vimeo オンデマンドで
e-Learning
2024.3.9
NEW ITEM Release

講師：落合真理子（歯科衛生士）

配信内容

撮影ポジションについて（1本）

機材解説（1本）

撮影部位ごと解説（11本）

正面、右下舌側、右上口蓋側、左下舌側、左上口蓋側、右側方、左側方、
上顎前歯口蓋側、上顎咬合面、下顎前歯舌側、下顎咬合面

12枚法撮影のながれ（1本）

対象：会員・非会員問わずヘルスケア歯科診療を学びたい方

受講料：シーズンレンタル（1年間見放題）10,000円

【Vimeo】とは…

日本ヘルスケア歯科学会のオンデマンド受講では、Vimeo（ヴィメオ）という動画配信サービスを使用しております。受講される方は、お手数ですが『Vimeoの無料ユーザー登録』をお願いいたします。レンタル時のみ、料金が発生します。お支払いはペイパル・クレジットカードをご用ください。

※詳細はホームページをご覧ください。

会員限定クーポン

30% OFF COUPON

口腔内規格写真 Perfect Master

プロモーションコード：
perfect-master2024

新作オンデマンド配信を記念して、会員限定クーポンを配布いたしました。クーポンの有効期間が近づいております。ぜひご利用ください。

有効期限
2025年3月8日
まで！

ご利用方法

Vimeoのお支払い方法選択画面に【プロモーションコードを適用】欄があります。そこに対象の文字列をご入力ください（英字の小文字・大文字の入力間違いにご注意ください）。入力後「適用する」ボタンを必ず押して、金額が変更になっているかをご確認ください。

コードの入力前にレンタルボタンを押された場合は、割引はされません。返金はできませんので、ご了承ください。



セミナー
紹介

歯科衛生士による歯科衛生士のための ヘルスケア歯科衛生士新人初期研修 (2025年度)

4/15 (火)
受付開始

2025年5月～7月 11:00～12:30(予定) 90分 Zoom ミーティング

対象：卒後間もない（新卒～数年以内）歯科衛生士

- 目的：1. 社会人としての基本的な心構えを学ぶ（新人初期研修）
2. ヘルスケア歯科衛生士のロールモデルを知る
3. ヘルスケア歯科診療に必要な知識・技術のステップアップについて知る

開催時間と開催時期：2025年5月20日（火）、6月17日（火）、7月1日（火）計3回
各回 11:00～12:30*（予定）90分間（毎回学習内容の確認＝自己採点をします）
*診療所責任者は、開催時間前後に余裕をもって新人研修の時間を確保してください

開催方法と参加費：オンライン（Zoom ミーティング）LIVE（アーカイブ配信はありません）
各90分3回 7,500円／1人



【カリキュラム】

第1回 新人初期研修（当学会について／社会人としての心構え／ロジカルシンキング／受講生交流）

講師：落合真理子

社会人として、とくに医療人として責任ある行動・言動が求められるようになります。挨拶をすること、人にフレンドリーに暖かく接することはもちろんですが、さらに自分で考えること、自分の考えを話すことは、社会人としての必須のスキルです。そこで論理的思考法の入口に立つことを目標に簡単なワークをします。一般に企業研修などでは、ロジカルシンキングを身に着けるための研修に1～3日を費やしますが、本講座ではその入口に立つことを目標にします。

第2回 ヘルスケア歯科衛生士を知る

講師：落合真理子

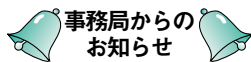
数人の歯科衛生士に「私の歯科衛生士としての歩み」を語っていただきます。ライフステージの変化と歯科衛生士の両立、歯科衛生士としての喜び、やり甲斐、壁にぶつかったときの克服の経験に触れていただきます。

第3回 必要な知識・技術のステップアップ

講師：山田美穂、落合真理子

歯科衛生士学校で一通りの勉強はしました。一般の歯科診療所では、それ以上のことが求められます。しかしほんとうに患者さんのためになることができているのでしょうか？ 医療面接、プロービング検査、口腔内写真撮影、カリエスリスクの診査と評価、キュレットのシャープニング、エックス線フィルムのセッティング、エックス線の読影、ディプラーキング、PMTc、そしてスケーリング・ルートプレーニング。そのいくつかをとりあげて、患者さんのためになるスキル、不快にしないスキル、自分のからだに無理をかけないスキルをどのように学んでいくか、そのステップアップの道筋を学びます。

☆研修修了者には、初期研修修了証（サーティフィケート）を発行します。



事務局からの
お知らせ

認定歯科衛生士 更新ポイントについて



「認定衛生士資格更新ポイント申告書 2024年」を対象の方に郵送いたしました。

認定歯科衛生士の更新に関しまして、コロナ禍措置として引き続き、2020年を含む場合は「5年で70ポイント」から「5年で50ポイント」となっております。

HCM2024の参加および有料のオンラインセミナーへの参加などでポイントが加算されます。

対象の方は3月末までにご提出ください。

学会誌（第25巻第1号）刊行

このニュースレターに『日本ヘルスケア歯科学会誌』を同封しております。

同封されていない方は、事務局までご連絡をお願いします。

語り合う 歯周基本治療の実践

ひとをみるヘルスケア診療のためのアプローチ

2025年11月2-3日(日・月祝) 2日 12:30 ~ 18:20 3日 9:30 ~ 15:30 (予定)

一橋大学一橋講堂 + 中会議室(東京都千代田区)・一部オンライン(ZOOM ウェビナー)

企画趣旨 昨年のヘルスケアミーティング2024において再確認した歯周基本治療のための手技、検査はヘルスケア歯科診療を行ううえで必要不可欠なツールです。ただ、検査値の結果だけに一喜一憂するのが我々の目的ではありません。そのツールを用いて日々の診療を行って、患者の人生に寄り添うことこそヘルスケア診療です。「歯をみる」だけでなく「口をみる」だけでなく、手技や検査を踏まえた先で「ひとをみる」ことこそ醍醐味でしょう。広い視野で患者を診て、癒し、その人生に関わり続けることがヘルスケア診療所に求められます。

今年は、長年われわれのロールモデルとなった大西歯科の新しい取り組みと、それを目指して行った4診療所の改革やチーム作りの事例から、症例を基に紹介し、みなさんと一緒に「ひとをみる」ことを語り合ひましょう。

昨年と同様、アンケートやディスカッションを通じて、ヘルスケアミーティング2025に参加されるみなさんが積極的に参加できるかたちを用意しています。歯周基本治療を通じてヘルスケア診療だからできる可能性を知る機会を提供できたらと思います。

(古市貴暢)

■ 1日目 語り合う 歯周基本治療の実践 ひとをみるヘルスケア診療のためのアプローチ 12:30 ~ 18:20 (予定)

登壇診療所(予定):

- 大西歯科(神戸市)
- 医) 仙道会 いいだ歯科クリニック(福岡市)
- 医) 丸山歯科医院(深谷市)
- 医) C&P 西すずらん台歯科クリニック(神戸市)
- 医社) 明恵会 古市歯科医院(高松市)



● ポスター発表 募集中! ●

カテゴリー 1・2

未定(症例発表 ほか)

演題について: 発表申請方法

ポスター発表を予定する方は、件名を「HCM2025 ポスター発表」として事務局宛に、① 演題と ② 発表者名をメールでご連絡ください。筆頭発表者は会員に限ります。筆頭発表者名で申込みください。

その他

ポスター発表は、2日目の決まった時間に交流時間を設けます。発表者はなるべく会場にご参加ください。

ポスターサイズ、抄録

サイズ: 幅 90 x 縦 180 cm 以内(サイズご注意ください)

※詳細については、決まり次第ご案内します。

申込み締切: 2025年8月31日

■ 2日目 あっちもこっちもヘルスケア 9:30 ~ 15:30 (予定) 午前中は選べる3コマ

3会場アンケート

| | | | |
|-----|---|--|--|
| 午前① | 伝えたい! 赤ちゃん歯科入門 ヘルスケア診療爆伸び 仲井真縁 | EBM ヘルスケア流・歯周治療成功の KEY POINT 寺岡徳光 | あつまれヘルスケア DH! 第二弾!! 日ヘル認定 DH★取得の先に見えるもの★ 私たち、なかなかの『のびしろガール』じゃない? |
| 午前② | 根面う蝕の新しい診査法 R-ICDAS を使おう! (仮) 石塚洋一(東京歯科大学 准教授) 杉山精一 枘富健二 | ヘルスケア診療攻略の手引き(仮) ほんだ歯科クリニック ワコ歯科・矯正歯科クリニック | 明日からできる コミュニケーション術 臨床現場のコミュニケーションで悩むあなたへ 小野寺 未来 古澤安奈 |
| 午後 | 大講堂 ディスプレイオーシスについて(仮) 高橋信博(東北大学 教授) | ※オンラインの方は講堂演目のみ視聴可 | |



認証ミーティング (第22回)

エントリー受付中!

2025年10月5日(日) 開催地: 未定

認証ミーティングは、認証診療所の実態が総括的に理解できる
またとないチャンスです

認証診療所とはこの「健康を守り育てる歯科医療」を「それを望む患者さんすべてに対して」、「実践している診療所」です。認証を希望する診療所は、年1回開催する認証ミーティングでプレゼンテーションを行います。歯科の外部審査員を含む審査で患者中心の診療所づくりを重視します。